

青森県獣医師会報

No.196

2023

目 次

〔資料〕

- 令和5年度鶏病研究会北海道・東北地区
技術研修会の出席報告……………事務局…1
第2回養鶏管理獣医師研修会の出席報告
……………事務局…3
青森県獣医師会会員の状況と今後の推移
～会員の減少を抑制し新会員を増やすため～…事務局…6
青森県における野生動物問題
……………上十三支部 進藤 順治…12
(北里大学獣医学部生物環境科学科野生動物学研究室)
アザラシの赤ちゃん誕生
……………青森県営浅虫水族館 宮西 優輔…17
青森県動物愛護センターからのお知らせ
……………青森県動物愛護センター…21

〔臨床ノート〕

- 269号 北里大学における
CTガイド下生検の実際……………22
270号 斜頸および歩様の
ふらつきを呈した若齢猫の一例……………24

〔会員だより〕

- 鈹塩を転がす話
……………上十三支部 有山 賢一…26
(独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場)
田舎館食検 theファイナル
……………弘前支部 松坂千亜紀…28
(田舎館食肉衛生検査所所長)
国道4号線 寄り道スポット
……………青森支部 松浦 貢…31

〔お知らせ〕

- 公益社団法人日本獣医師会永年勤続表彰と
名誉会員称号記及び県獣永年表彰
……………事務局…34

〔新入会員紹介〕

- 今年度入会された公務員獣医師の方を紹介します
……………事務局…35

〔お知らせ〕

- 令和6年度 (公社)青森県獣医師会検査員募集
……………事務局…36

〔事務局だより〕

- ……………37

〔編集後記〕

- ……………39



令和5年10月1日

公益社団法人 青森県獣医師会

第21回 アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会

アジアワンヘルス福岡宣言 2022

ワンヘルスは、動物と人の共生社会づくり、生物多様性や環境の保全などによって、地球や社会の持続的な発展を目指している。

現在、世界では、COVID-19、新型インフルエンザ、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) など人と動物の共通・新興感染症の国境を越えた発生や、薬剤耐性 (AMR) が大きな課題となっている。

このようなことから、FAVA 加盟国は、連携・協力してワンヘルスを実践しなければならない。

我々 FAVA 加盟獣医師会及び所属する獣医師は、ワンヘルスの先進地である福岡県において開催された第21回 アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会の成果を踏まえ、「FAVA 戦略プラン 2021-2025」に基づくワンヘルスアプローチを一層発展させ、その実践活動をアジア・オセアニア地域から世界に向けて発信することを決意し、以下のとおり宣言する。

1. 新興・再興感染症を含む人と動物の共通感染症の予防及びまん延防止に万全を期するため、感染源、感染経路及び宿主対策についての調査・研究体制を整備するとともに、情報の共有に努める。
2. 薬剤耐性菌が医療と獣医療において重大な脅威となっていることから、抗菌剤の慎重かつ適正な使用を徹底し、薬剤耐性 (AMR) 対策を推進する。
3. 動物と人が共生する社会を構築するため、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進する。
4. 獣医学教育の更なる整備及びワンヘルスアプローチによる国際連携により、WOAH (OIE) Day One Competencies (獣医師が具備すべき知識・技能・態度) を有する獣医師の育成に取り組む。
5. 医療関係団体、行政機関、市民団体及び大学、WVA、WOAH (OIE)、WHO、FAO、UNEP などの国際機関と協力し、ワンヘルスの課題解決と推進に取り組む。
6. アジアにおけるワンヘルスの課題への研究と児童、生徒及び市民に対するワンヘルス教育の普及のために、FAVA 活動の拠点を整備・強化する。



令和4年11月13日 ヒルトン福岡シーホークにて開催された「第21回 アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会」にて調印。

令和5年度鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会の出席報告

事務局

令和5年8月29日（火）、北海道札幌市札幌パークホテルにおいて「令和5年度鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会」が開催されましたので、その概要をお知らせします。

主催者挨拶として鶏病研究会北海道支部長の高橋和彦氏から次のような挨拶がありました。「コロナ禍の影響により対面開催を控えていましたが、久しぶりに皆様の顔を見て開催することができました。

ウクライナ戦争の影響等によりエネルギーや輸入飼料が高騰しています。また、高病原性鳥インフルエンザが発生し全国で177万羽の鶏が処分されました。北海道でも採卵鶏の2割が処分され卵の流通が滞り、地域経済が一時的に低迷しました。

今回、7題の発表演題中4題が高病原性鳥インフルエンザに関する発表です。この病気については、さらに防疫措置を強化する必要があります。

そのため、特別講演として北海道大学の喜田宏先生からお話を頂くこととしておりますので、今後に生かして下さいよう願います。」との挨拶がありました。

なお、発表は次の7題で、岩手県北家畜保健衛生所の熊谷さんが優秀賞を受賞されました。また、青森県からも三八地域県民局地域農林水産部八戸家畜保健衛生所の漆山さんが発表し、審査員から「病性鑑定を積み重ね、産卵率などの調査もしっかりと実施している。」と高い評価を受けました。



【発表演題】

- 1 国内初エミュー飼養農場で発生した高病原性鳥インフルエンザ
北海道網走家畜保健衛生所 戸田 有恒氏
- 2 宮城県で発生した高病原性鳥インフルエンザ3事例の病理学的比較
宮城県仙台家畜保健衛生所 山梨 祐末氏
- 3 2022年に道内養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザの病理所見について
北海道石狩家畜保健衛生所 上垣 華穂氏
- 4 高病原性鳥インフルエンザ発生農場と発生届出前の気象データの記録
山形県 オフィスシードワン 種市 淳氏
- 5 マレック病の継続的発生と環境調査
秋田県北部家畜保健衛生所 李 英輝氏
- 6 地域における鶏伝染性喉頭気管炎の多発事例
岩手県北家畜保健衛生所 熊谷 芳浩氏
- 7 肉用鶏農場で発生した鶏脳脊髄炎
青森県八戸家畜保健衛生所 漆山 文也氏

【特別講演】

特別講演として「鳥インフルエンザにはじまる人獣共通感染症対応を振り返る」と題して、北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所特別招聘教授 喜田 宏先生の講演がありました。喜田先生は、高病原性鳥インフルエンザなど人獣共通感染症の研究を主に行っております。

特別講演の内容を簡単に、ご紹介いたします。

『1977年、北海道でシベリアから飛来したカモの大腸からウイルスを分離した。インフルエンザは、呼吸器感染症なので大腸からの分離に疑問が残った。このウイル



講演する
喜田 宏先生

スのヘマグルチニン（H A）は1968年の香港株と同じで、ノイラミニダーゼ（N A）は1957年のアジア風邪と同じであった。

インフルエンザのRNA 遺伝子は、H A, N A, P A, P B1, P B2, M, N P, N Sと8分節あり、異なるウイルスが一つの細胞に重複感染すると新たなウイルスが合成される。この場合、RNA 遺伝子の組合せは256通り（計算上 2^8 ）となりパンデミックの鍵となる。

インフルエンザは、全ての海・陸の動物から分離されるが動物種によりH A型に特徴がある。しかし、北海道に飛来するカモは、全てのH A型を持っている。シベリアのカモ営巣地を調査した結果、糞や湖の淡水からウイルスが分離された。春から夏はカモ間でウイルスが循環し、冬に湖が凍結し営巣地に永久に残っていた。

また、ウイルスは、大腸の細胞で増殖するが病原性を示さず共存し、免疫選択されずに変異（抗原変異）しないことが分かった。

なぜ、変異したのか？1968年のアジア風邪と鳥由来のウイルスが豚で同時感染したからである。その結果、RNA 遺伝子8本のうち6本がアジア風邪由来、2本がカモ由来のウイルスとなった。これまで、ヒトでパンデミックを起こしたウイルスを調べると全て豚で合成されている。

インフルエンザワクチンは、全粒子ワクチンと界面活性剤等で処理したスプリットワクチンに大きく分類される。ワクチンの効果は、全粒子ワクチンが高いが発熱する場合があります。スプリットワクチンの効果は、野外感染した人のブースター反応によるもので、過去に感染したことがないヒトは全く効果がない。

ワクチンが開発された当時は、抗原提示とT細胞のメカニズムが分かっていなかった。全粒子が細胞に取り込まれT細胞に抗原が提示されるとマクロファージが活性化され連続的に免疫反応が起る。スプリットワクチンは、蛋白質がバラバラにされた抗原を提示しており免疫反応が弱い。

インフルエンザウイルスは、カモに対して病原性はない。しかし、七面鳥やウズラなどの鳥は感受性が高く、ウイルスが大量に放出される。これが、家禽（鶏）に感染し低病原性としてまん延する。

ウイルスは、H Aにより標的細胞に吸着しエンドサイトーシスによって受動的に取り込まれる。その後、H Aは宿主の蛋白分解酵素によりH 1とH 2に開裂する。高病原性の場合、この開裂部のアミノ酸配列がアルギニン（A）、リジン（R）と連続している。このH Aを開裂するFurin蛋白分解酵素は全身臓器に存在するため重篤な症状を起こす。また、Furin蛋白分解酵素の影響で時間をかけて、AやRが1個ずつ挿入され4個になると高病原性に変化し100%死亡する。一方、低病原性ではアミノ酸が連続しておらず、配列を開裂するトリプシンなどの分解酵素は、呼吸器や腸管に限局しているため軽症となる。

なぜ、アミノ酸配列に変化が生じたのか？ワクチンを使用すると耐性したウイルスがFurin蛋白分解酵素の影響を受ける。これを繰り返し高病原性に変化、カモがシベリアに持ち帰って、越冬のため中国やモンゴルに渡り水鳥が大量死する。それが世界中にまん延した。原因は、不用意なワクチン使用によるものである。

COVID-19の病勢が強いのは、アミノ酸配列に変化が生じFurin蛋白分解酵素により開裂、全身感染を起しているためである。本来、コロナウイルスは、呼吸器と腸管の局所感染症である。中国もアメリカもFurinについて、なぜか沈黙している。今後もCOVID-19は、何度も免疫された人を通過し更なる変異を起こす。そのため、今後もパンデミックは継続する。mRNAワクチンの効果は、あまり期待できない。この病気を制御するためには、宿主動物とそのメカニズムを明らかにする必要がある。しかし、中国は様々な情報を発信せず、逆に隠匿している。

次は、『季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症のパンデミックに備える必要がある。そのため、全粒子のワクチン開発が急務である。』と非常に分かり易い内容の講演でした。

第2回養鶏管理獣医師研修会の出席報告

事務局

1 はじめに

令和5年8月、第2回養鶏管理獣医師研修会に参加する機会があったので、その概要を報告します。

本研修会は鶏病研究会と公益社団法人日本獣医師会が共同で開催しており、令和元年8月に第1回目が開催されましたが、その後新型コロナウイルスの影響で研修会が開催できず、今回、ようやく第2回目が開催されたものです。

なお、日本獣医師会では農林水産省の補助事業である獣医療提供体制整備推進総合対策事業として、全国の産業動物獣医師等の育成と確保及び良質な獣医療を提供する体制の整備推進を図り、畜産の生産性の向上に寄与することを目的に様々な技術研修会や講習会等を実施しています。本研修会は、その中の「管理獣医師の実践的な技術・知識を習得するための講習会」の一環としても開催しているものです。

2 概要

日時：令和5年8月23日(水)、13:30~17:00

会場：東京都 AP東京八重洲

共催：鶏病研究会・日本獣医師会

参加者：約130名

開催にあたり、鶏病研究会の磯部理事長(所属：公益社団法人畜産技術協会)から、日本獣医師会からの御支援をいただきながら開催していること、より現場に近い3題の講演内容になっていること、また、国と日本獣医師会が産業獣医師及び家畜保健衛生所職員等の確保や育成に取組をされているが、特に産業動物の鶏については非常に遅れていて研修会も少ないことから、まずは今回のような研修会が養鶏管理獣医師の育成のきっかけになればと考え、今後も日本獣医師会と連携して研修のあり方について検討していきたいとの挨拶がありました。

1 題目は、鶏病研究会理事会の専門委員会で作成した養鶏獣医師を目指す方のための診療マニュアルについて、とりまとめに大きく貢献した委員の先生から詳しい解説がありました。

2 題目は数多くの写真や動画を使いながら、鶏解剖の基本である安楽死、保定、採血等の方法や、ウイルス、細菌、寄生虫の分離に必要な無菌的臓器の採取方法など病理解剖学的な見地から説明がありました。

3 題目は開業されている養鶏臨床獣医師の立場から、鶏の仕事はとても魅力的でやりがいがあると感じていることや、実際の現場で見られる地鶏の様々な病気の紹介があり、ブロイラーやレイヤーの現場ではあまり見かけなくなった珍しい古典的な病気のスライド写真もたくさんありました。

3 講演

次に、3題の主な内容を紹介します。

(1) 養鶏臨床における診療マニュアル

講師：岡本 花子

所属：株式会社十文字チキンカンパニー

(略歴)

2002年 酪農学園大学獣医学部獣医学科卒

ホクレン農業協同組合連合会に入会

2006年 株式会社十文字チキンカンパニー入社

ブロイラーと種鶏の診療に従事

鶏病研究会の専門委員

岩手県獣医師会二戸支会理事

(主な内容)

・2020年の農業総産出額(全国推計値)のうち畜産は3兆2,372億円であり、そのうち牛が1兆5,508億円、鶏が8,167億円、豚が6,619億円となっており、養鶏の重要性、ひいては獣医療における鶏を

診療対象とする獣医師（養鶏獣医師）に求められる役割と責務は大きいと考える。ところが、我が国の獣医師の養鶏獣医師の数は2020年時点では獣医事に従事する総数35,855名に対し、123名程度で全体の0.34%に過ぎない（うち個人で開業する者35%、企業に従事する者65%）。このような状況に対処するために、養鶏獣医師として経験を重ねて得られた診療のノウハウを次世代の養鶏獣医師候補に伝えるべく養鶏臨床における診療マニュアルを作成し解説した。

- ・マニュアルの項目は ①診療の基本、②用途及び飼育段階にみた診療の流れ、③診療に必要な主な採材・検査、④診断結果の届出、診療簿などの作成、養鶏場指導となっている。
- ・仮に養鶏獣医師として高い志を持つものが最初の一步を踏み出したとしても、数少ない養鶏獣医師と出会い教育を受ける機会に恵まれなければ、手探りで学び経験を積み重ねなければならないことから、このマニュアルは養鶏現場を訪問する獣医師に向けた手引書となると考えている。
- ・養鶏獣医師は個体診療を基本とする他畜種の獣医師とは異なり、1鶏舎に収容されている鶏の集合体を1つの単位とみなす群診療を基本とする。
- ・養鶏場の診療で注意しなければならないことは、自らが病原体を持ち込み感染源とならないように消毒の徹底などに留意すること、養鶏場で借りることができるものは持ち込まないこと、平飼いが基本であるブロイラーの鶏舎内では鶏が驚くと圧死事故を招く恐れがあるので不用意にライトを使用しないことや鶏群を極力刺激しないようゆっくりと歩くことである。
- ・鳥インフルエンザ簡易検査を行う場合、クロアカスワブ及び気管スワブを採材する。クロアカスワブの採材は総排泄腔にスワブを差し込み、粘膜全体をまんべんなく擦り取る。死亡鶏の気管スワブの採材は気管上部をT字に切開し、肺に向かってスワブを差し込み、粘膜面全体をまんべんなく擦

り取る。採材に先立ち切開領域を過剰にアルコール消毒してしまうとアルコールが部位に流入し、採材した病原微生物が死滅する恐れがあるので注意を要する。

- ・鶏の不調は必ずしも病原体に起因するとは限らないことから、飼育環境を客観的に評価し判断する必要がある。検査項目としては、温度や湿度のほか、鶏舎内の二酸化炭素、アンモニア、一酸化炭素等の濃度測定、照度測定、風速測定、飲料水の水質検査、飼料栄養成分検査、敷料の検査などが挙げられる。

(2) 鶏解剖の基本

講師：山本 佑

所属：農研機構動物衛生研究部門

(略歴)

2010年 水禽類の鳥インフルに関する研究

北海道大学で学位を取得

現在はニューカッスル病やマレック病で鶏貧血ウイルスの持続感染の検証等に従事

(主な内容)

- ・鶏の生理学的指標：体温40～42℃、心拍250～350／分、呼吸数20回／分、寿命10年以上。
- ・鶏の採血方法：25～27Gの血管針で翼静脈から採血する。鳥類の血管は脆いので、失敗したら反対翼を使用する。幼雛の翼静脈は非常に細いので右頸静脈（左より太い）から採血するようにする。
- ・安楽死の方法：麻酔薬の過剰投与による方法が良いとされる。
- ・死亡の判定：全反射の消失、呼吸や心拍動の停止、完全な筋弛緩が不可逆的（おおむね3分以上）な状態であること。
- ・リンパ臓器：胸腺、F囊、脾臓、盲腸扁桃、メッケル憩室。胸腺とF囊は生後半年以降に生理的な退縮を始める。メッケル憩室は小腸の中央にある痕跡器官。
- ・卵巣と卵管は左側が発達し、右側卵管は孵化時に

退縮する。しばしば右卵管の遺残構造や分泌物が貯留した嚢胞を認める。

- ・鳥類には哺乳類にはない腎門脈系があり、後肢や骨盤等からの静脈血は腎臓でろ過処置されてから心臓に入る。
- ・鶏が有さない臓器：リンパ節、膀胱、尿道、横隔膜、子宮、胎盤、黄体、歯、皮膚の汗腺、好中球、血小板。

(3) 養鶏現場での肉眼検査、採材とその後の対応

講師：小島 洋美

所属：小島家禽クリニック

(略歴)

2009 山口大学農学部獣医学科卒

小岩井農場入社

牛の診療、鶏の診療

MPアグロ株式会社入社

熊本県の診療所にて養鶏の診療

2020 熊本県にて小島家禽クリニック開業

(主な内容)

- ・牛の獣医師として診療に従事し、その後の異動で初めて養鶏に携わることとなったが、鶏はとても魅力的で興味深いと感じ、それ以降、単に仕事としてだけでなく鶏への深い関心を持って、鶏の獣医師を続けている。
- ・日頃は養鶏管理獣医師として飼養管理、衛生管理、疾病管理などのコンサルティング業務に従事し、採卵養鶏場や地鶏農家へ定期的に訪問している。給餌管理や温度管理、換気調整、衛生管理等を見直すことで、農場の生産成績や斃死数が少しずつ改善されている。
- ・個人経営の地鶏農家は、養鶏未経験者が転業されたケースが多くみられるため、飼養管理や衛生管理に対する情報や疾病情報の共有が不十分である印象を受けたことから、地鶏農家と成績改善に取り組んだ。感染症から栄養障害、人為的失宜など多岐にわたり発生原因と対策を農家へ丁寧に説明

したところ、一つ一つ改善に向かった。

4 所感

私は県職員を定年後、令和5年4月から食鳥検査の業務に携わることになりましたが、これまでの食肉検査所で豚、牛、馬を見てきたのとは違い、恥ずかしながら鶏の解剖学的な臓器や組織の違いを知り、40年以上前の大学時代で使用した比較家畜解剖学の教科書等を本棚から引っ張り出し、大学1年目に学んだことがすっかり抜け落ちていることに気が付いたところでした。改めて少し勉強を始めたところ、鳥は爬虫類や恐竜から進化し、効率的に酸素を取り込むために複数の気嚢などがあることや、子宮がなく卵巣が左側しかないこと、精巣が高い温度帯の腹腔内にあるにも関わらず正常な精子が造られていること、膀胱や尿道がないことなど多くの疑問点が湧き上がり、比較動物学に興味を湧いてきました。

今回の研修会ではその解剖学的特徴を詳しく知ることができたことは勿論、養鶏現場の臨床獣医師の責務と役割の大きさや養鶏業界の課題や取り組みを知ることができ、たいへん勉強になりました。特に講師の先生が養鶏管理獣医師は個々の病気を予防・治療するだけでなく飼養管理、衛生管理、疾病管理などのコンサルティング業務に従事し、農家に改善方法を丁寧に伝えることで改善されていくことに鶏の仕事が魅力的でやりがいを感じると話していたことが印象的でした。

これからも疾病情報だけでなく、飼養管理や衛生管理に対する情報を取り入れながら食鳥検査業務に活かしていきたいと思います。

(上十三支部 渋谷 憲司 記)

公益社団法人青森県獣医師会会員の状況と今後の推移 ～会員の減少を抑制し新会員を増やすため～

事務局

公益社団法人青森県獣医師会会員数は、令和5年7月31日現在で賛助会員を除いて399名と400名を割っています。

なお、会員数が一番多い年は、平成18年で476名を数えています。そのため、会員数が最大であった17年前と比べ77名の会員が減少したこととなります。

1 東北各県・仙台市の状況

それでは、東北各県・仙台市獣医師会の状況はどのようなになっているのでしょうか。

表1は、東北各県・仙台市獣医師会の獣医師数、会員数の状況について、平成10年、平成20年、平成30年及び令和2年と年代毎に取りまとめたものです。

なお、獣医師の届出数は、農林水産省が公表している最新の令和2年度統計を用いました。この統計は、獣医師法第22条に基づく隔年末の届出獣医師数の集計であり、獣医師免許を有する全ての方が把握されていない可能性があります。

また、宮城県の場合、(公社)宮城県獣医師会と(公社)仙台市獣医師会とを分類できないため、組

織率を求める際には合計して集計しています。

獣医師の届出状況です。平成10年では、岩手県が一番多く638人、次いで宮城県の614人、福島県、581人、青森県は東北で4番目の530人となっています。

平成30年には、岩手県と宮城県との届出数が逆転しました。令和2年では宮城県707人、岩手県603人、福島県549人、青森県は531人が届出されています。

届出の増減に注目します。宮城県は平成10年614人であったものが、令和2年には707人と93人増加しています。同じように山形県でも18人増加しています。逆に、岩手県では35人、秋田県では46人、福島県では32人と届出数が減少しています。

なお、青森県の場合、平成10年は530人、平成20年と平成30年は548人、令和2年は531人とほぼ横ばいです。

会員数の推移です。平成10年では、岩手県が一番多く636人、次いで宮城県の570人、福島県の530人、青森県は東北で4番目の438人となっています。

表1 東北各県・仙台市獣医師会の会員数

獣医師会	平成10年			平成20年			平成30年			令和2年		
	会員数	届出数	組織率(%) [※]	会員数	届出数	組織率(%)	会員数	届出数	組織率(%)	会員数	届出数	組織率(%)
青森県	438	530	82.6	453	548	82.7	439	548	80.1	414	531	78.0
岩手県	636	638	99.7	625	644	97	574	608	94.4	561	603	93.0
宮城県	570	614	92.8	421	631	84.5	384	678	73.7	382	707	69.6
仙台市				112			116			110		
秋田県	322	325	99.1	284	292	97.3	277	291	95.2	261	279	93.5
山形県	336	328	102.4	345	343	100.6	337	341	98.8	335	346	96.8
福島県	530	581	91.2	527	582	90.5	478	551	86.8	460	549	83.8
計	2,832	3,016	91.2	2,767	3,040	90.5	2,605	3,017	86.8	2,523	3,015	84.8

※ 組織率=会員数÷届出数×100

日本獣医師会雑誌 (vol. 75, No. 10 2022, 480p) に記載されている表を一部改変

令和2年では、岩手県561人、宮城県492人、福島県460人、青森県414人となり会員数が減少しているものの順位は変わりません。

次に、会員数を届出数で除した組織率で比較します。

平成10年では、山形県が一番高く102.4%（他県からの入会により100%を超えることもあります。詳細は不明。）、次いで岩手県99.7%、秋田県99.1%、福島県91.2%、宮城県92.8%と続きます。青森県は、最も組織率が低く82.6%でした。

令和2年で組織率が90%を超えている県は3県で、山形県96.8%、秋田県93.5%、岩手県93.0%の順となります。

なお、組織率が一番低いのは宮城県の69.6%で、青森県は、78.0%と2番目に低い組織率です。

年毎の組織率の変化です。各獣医師会の組織率は年毎に減少しています。

平成10年度と令和2年とを比べると、岩手県、秋田県、福島県の3県は、6から8ポイント減少しています。宮城県では、23ポイントも減少しており、東北で一番の減少となっています。

なお、青森県は、4ポイントの減少と東北で一番低くなっています。しかし、先に記載しているとおりの届出数が横ばいで、組織率が当初から低いことに

留意する必要があります。

2 青森県獣医師会会員の状況

表2には、会員が獣医師会に届出している勤務先の状況を集計し、表3には青森県職員の獣医師会加入状況を示しました。

いずれも、令和5年7月31日現在の集計です。勤務先を分類し各分野別の状況について簡単に考察します。

(1) 畜産関係の公務員獣医師

青森県の農林水産部畜産課、家畜保健衛生所の公務員獣医師の状況です。畜産関係の公務員獣医師は、全国的な家畜保健衛生所職員の組織である家畜衛生職員会の組織率も高く、産業動物の獣医師との関わりが深いこと、また、小動物獣医師についても獣医事や獣医療などの繋がりがあることなどから36人中35人97.2%と高い組織率です。

(地独) 青森県産業技術センター畜産研究所の獣医師は、元は家畜保健衛生所の職員であったことから、獣医師会に加入している方が多いと考えられます。

表2 会員の勤務先状況

職業分類	公務員・農林水産関係		公務員・公衆衛生関係					他県職 県嘱託	地独・独立 行政法人	団体
	畜産課	家保	保健衛生課	食肉衛生検査所	保健所	動物愛護	中核市 (嘱託含む)			
会員数	3	32	7	35	19	6	6	7	3	13

職業分類	県獣医師会 (事務局 食鳥検査)	北里大学	民間企業	診療施設開設		診療施設勤務		自営	無職	特別職 地方公務員
				産業動物	小動物	産業動物	小動物			
会員数	27	31	9	50	71	5	5	6	62	2

令和5年7月31日現在

集計方法

- 1 会員の勤務先は届出内容（職業欄）から集計
- 2 団体の内訳は、一般社団法人、一般財団法人、農業協同組合、農業共済組合など
- 3 診療施設の区分は、診療施設の名称に家畜、牛群、畜産などを用いる場合、当会で把握している状況から区別
- 4 勤務獣医師は、施設開設者と苗字が異なっていた場合を集計
- 5 無職は、職業欄に記載のない方を集計

表3 青森県職員の獣医師会加入状況

(人)

		令和5年度 職員数	会員数	組織率(%)
健康 福祉部	保健衛生課	7	7	100
	食肉衛生検査所	50	35	70.0
	保健総室(保健所)	24	19	79.2
	動物愛護センター	6	6	100
	計	87	67	77.0
農林 遺産部	畜産課	3	3	100
	家畜保健衛生所	33	32	97.0
	計	36	35	97.2
合 計		123	102	82.9

青森県獣医師会事務局調査

(2) 公衆衛生関係の公務員獣医師

公衆衛生関係の獣医師は、青森県と中核市である青森市、八戸市に大きく分類されます。

また、青森県の場合は健康福祉部保健衛生課、各地域健康福祉部保健総室(保健所)、食肉衛生検査所、動物愛護センターに分類されます。

県職員の会員数は67名で、県の食肉衛生検査所、動物愛護センターの会計年度任用職員の5人を加えると72人となります。

それぞれの組織率は、保健衛生課100%、動物愛護センター100%、保健所79.2%、食肉衛生検査所70.0%と各職場により差があります。

保健衛生課、動物愛護センターは、狂犬病予防対策や動物愛護活動など獣医師会の事業と深く連携し活動を推進する必要があるため、組織率が高いものと考えられます。

一方、保健所と食肉衛生検査所の職員の組織率が低迷していることが分かります。

平成12年4月1日から狂犬病予防法による事務が県から各市町村へ移行されました。この影響によりワクチンを接種する開業獣医師や獣医師会との繋がりが希薄になったことが要因の一つだとの意見もあります。

中核市の青森市は、会計年度任用職員1名が入会

しています。しかし、青森市に勤務する正職員の方々が獣医師会に加入していません。元青森市職員であった会員からの情報では、3名から4名程、保健所に勤務する獣医師がいるそうです。狂犬病予防対策や動物愛護、災害時における愛玩動物の緊急避難など獣医師会に共通する仕事が多いことから入会へ向けて意識の改革を図っていきたいと考えています。

また、八戸市は5名の方が入会しています。その理由として、県職員であった数名の会員が退職後に八戸市職員として勤務していること、三八支部獣医師会の総会に八戸市の保健所所長を招き獣医師会の存在をアピールしていること、保健所の獣医師職員を職域理事として支部獣医師会の活動に参画させていることなどが大きな要因と考えられます。

令和2年の獣医師法第22条の調査では、中核市における獣医師の職員数は8名となっております。そのため、八戸市の組織率は100%と考えられます。

なお、公務員である畜産関係、公衆衛生関係の会員数は嘱託を含め107人で、全体の26.7%を占めています。

(3) 診療施設開業・勤務獣医師

診療施設開業・勤務獣医師の会員数は、131名で、全体の32.8%を占めています。

開業している非会員の状況は、分かりませんが、入会している方々が比較的多いものと考えられます。

獣医師会に加入し狂犬病予防注射事業に参画することによって、地域の獣医師との情報交換ができること、日本獣医師会の獣医師賠償責任保険の補助や狂犬病事業賠償保険の無償加入、団体障害保険の補助があること、日本獣医師会、都道府県・各市獣医師会の学会や講習会・研修会に参加できること、獣医会雑誌等により様々な知識や情報が得られることなどの利点があります。

一方、勤務獣医師については、正確な人数を把握していません。しかし、学会や講習会・研修会な

どの知識を会員である診療施設の開設者から間接的に得られること、狂犬病予防注射に関係しないことから入会の必要性を感じていないのかも知れません。

(4) 北里大学の獣医師

現在、31名の方々が獣医師会に加入しています。北里大学のホームページからは、獣医学部獣医学科の職員一覧を見ることができます。これには、50名の方々が記載されていますが、全ての先生が獣医師であるのか否か、また、他の学科にも獣医師がいる可能性もあるため実態は分かりません。

一方、大学院博士課程の大学院生（獣医師）の人数を把握していませんが、現在、獣医師会に加入している学生はおりませんでした。

なお、令和2年の獣医師法第22条による調査では、青森県の私立大学職員57名、その他11名、計68名となっています。

(5) 無職の獣医師

獣医師会に届出されている勤務欄が空白な方を無職として数えました。

その結果、62名の方々が該当し、全体の15.5%を占めていました。

昭和7年生まれから昭和61年生まれまで幅があり、70歳前後がピークとなっています。

3 会員の年齢と性別

表4は、支部毎の会員数と女性会員の割合、平均年齢をまとめたものです。

各支部の会員の状況ですが、上十三支部の会員数は150人と一番多く、次いで三八支部の115人となります。

一方、女性会員が一番多いのが三八支部38人で上十三支部29人と順位が逆転しています。

なお、女性会員の割合では、三八支部33.0%、次に弘前支部31.0%であり、県全体では24.3%です。

会員の平均年齢は、男性60.1歳、女性49.8歳、平均57.6歳となっています。

男性会員の平均年齢が高いことが気になります。これについて、比較する資料を検索しましたが、適当なものが見当たりませんでした。

表5に全国の女性獣医師の割合と青森県獣医師会の女性会員の状況を比較しました。

全国と青森県の令和元年度の状況を比較すると20歳代の割合に大きな差があります。この年の女性会員が一時的に増加したことが原因です。その後、数名の女性会員が30歳代に移行したことや男性が増えたことにより令和5年には50.0%の割合となっています。

表4 会員の男女比較と平均年齢

支部	会員数	男性会員	女性会員	女性割合 (%) ※
青森	60	48	12	20.0
弘前	29	20	9	31.0
三八	115	77	38	33.0
西北	23	17	6	26.1
上十三	150	121	29	19.3
下北	22	19	3	13.6
計	399	302	97	24.3
平均年齢	57.6歳	60.1歳	49.8歳	—

令和5年7月31日現在

※ 女性割合=女性会員数÷会員数×100

表5 全国の女性会員との比較

年代	全国※ ¹	青森県獣医師会 (%)	
		令和元年※ ²	令和5年※ ³
20代	52.7	73.3	50
30代	43.4	28.9	40
40代	47.7	42.5	45.6
50代	26.3	19.3	24.7
60代	14.1	12.6	9.9
70代以上	5.7	4.1	12.9

※1 農林水産省「獣医事をめぐる情勢」令和4年11月公表

※2 令和元年7月1日現在の会員数から集計

※3 令和5年7月31日現在の会員数から集計

※注 女性会員の割合 年代毎の女性数÷会員数×100

同じように令和元年の30歳代は、28.9%低い状態でしたが、令和5年には40.0%に改善され全国とほぼ変わらない状態となっています。

今後、全体的には、徐々に全国の割合に近づいていくことでしょう。

図1には、会員の性別、年齢別ピラミッド型グラフを示しました。

男性会員が一番多い年齢は60歳代91名、次いで50代64名、70代55名となっています。

女性会員の場合、40歳代が一番多く36名、次いで50歳代21名、30歳代14名となっています。男女の平均年齢には10歳の差がありますが、次世代を担う20歳代、30歳代の会員が少ないことが窺われます。

表6 会員の推移（10年間）

(人)				
年	入会	退会	ご逝去	増減
平成26年	10	14	15	-19
平成27年	14	17	3	-6
平成28年	13	6	6	1
平成29年	12	5	0	7
平成30年	7	10	1	-4
令和元年	16	24	7	-15
令和2年	13	15	6	-8
令和3年	13	13	4	-4
令和4年	5	14	4	-13
令和5年	10	8	2	0
計	113	126	48	-61

各年3月31日の集計

4 10年後の青森県獣医師会

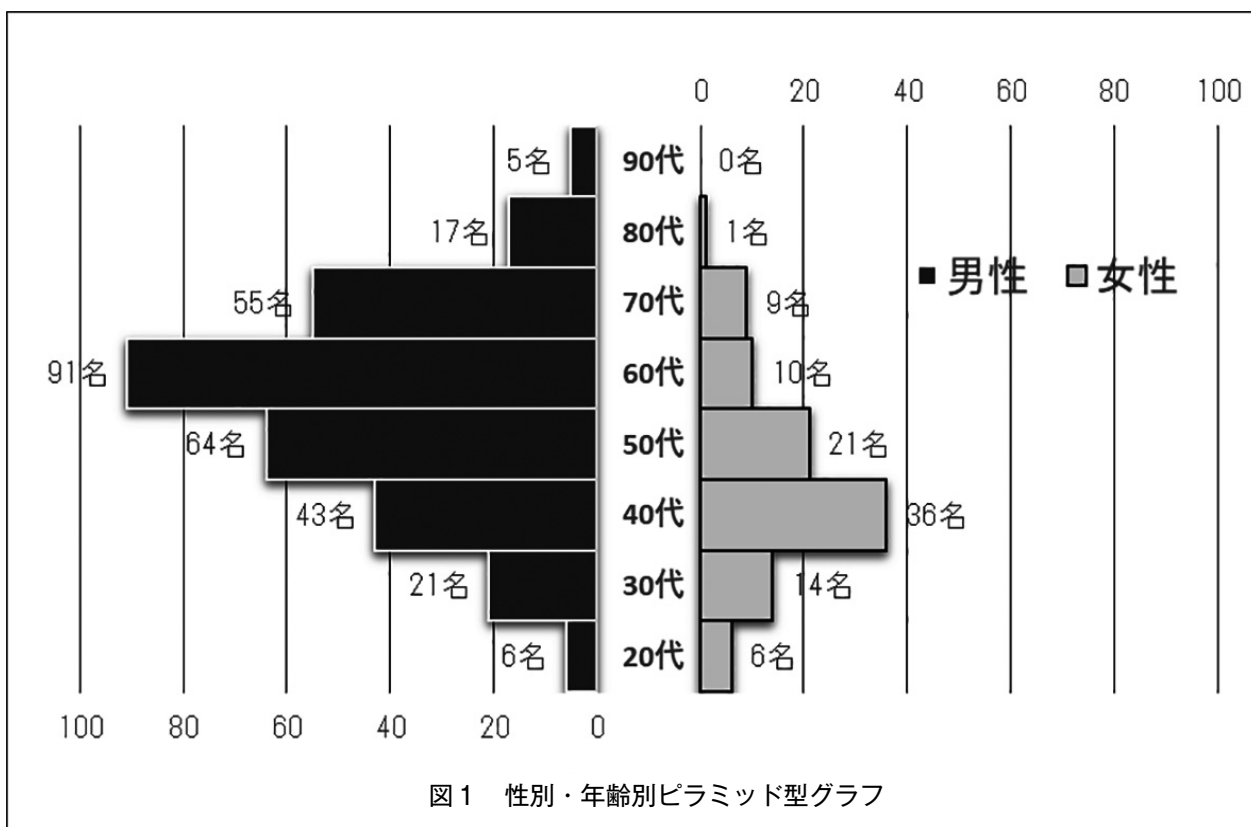
さて、青森県獣医師会の10年後について考えてみます。

現在、80歳以上の会員は23名です。10年後には男性53名、女性9名の合計62名の会員が新たに80歳に

なります。

一方、新たに会員となる方は何人くらいいるのでしょうか。

表6には、平成26年度から令和5年度までの10年



間における会員の入退会の推移を示しています。

この10年間で新たに入会された方は、113名、退会された方は126人、ご逝去された方は48人であることから61人の会員が減少しています。

以上のことから、10年後には高齢化が加速し名誉会員（80歳以上で推薦された会員）の方が60～70人前後になると予想されます。また、毎年6人程度会員が減少していることから、対策を講じない場合10年後には340～350人の会員数となります。

仮に名誉会員数を60人と仮定すると、280～290人の会費納入によって、会が運営されることとなります。

5 新会員の確保と退会者の対策

先に「東北各県・仙台市獣医師会の会員獣医師数の推移」を表1に示していますが、平成20年から平成30年までの会員減少数は14人だったことから、近年、退会者が多いことが分っています。

それでは、なぜ退会者が多くなってきているのでしょうか。

様々な要因があるかと考えられます。

公務員獣医師の場合を考えてみます。青森県獣医師職員確保プラン（令和4年度から令和13年度の計画）の資料によると、平成25年度の県職員数は170人であったものが平成30年度は149人、令和5年度には123人と47名も減少しています。

県職員の場合、定年しても多くの方々はそのまま、獣医師会に加入しています。

一方、新採用者が少なく補充が満たされていないこと、若い世代が簡単に自主退職し県外に流出していることなども要因の一つと考えています。

今後、修業年限6年の獣医師が増加することから、定着できる職場環境の推進や処遇問題も更に考える必要があります。

また、20歳代から30歳代の獣医師は、メリットやデメリットだけを考慮し、「実利がないから獣医師会に加入しない」と考えている方も多いと聞いています。

20歳代、30歳代の若手獣医師に対する加入促進対策が必要と考えられます。そのため、獣医師会の目的である「人と動物に関する保健衛生の向上、畜産の振興、公衆衛生の向上、動物の福祉及び愛護の推進、自然環境の保全並びに人と動物の共生する豊かで健全な社会づくり」などの情報を様々な方法で広く宣伝し共感を得る必要があります。

さらに、獣医師会に加入していると学術情報が得られ、獣医師会主催の研修会や講習会への参加、学会への発表も可能となることなどのメリットを強調する必要があります。実際、獣医学術東北地区学会において発表するため、入会する方々もおります。また、北里大学の先生方や大学院生の加入を促進する対策も必要です。

次に女性獣医師についてです。現在の獣医系大学において女性の学生が半分以上占めており、今後、女性獣医師が増加することが見込まれています。そのため、女性獣医師が生涯を通じて、能力を十分に発揮できるための環境作りが必要です。

今後、獣医師会として公務員の処遇改善や女性獣医師の働く環境作りを推進して会員確保に努めることとしています。



青森県における野生動物問題

上十三支部 進 藤 順 治

(北里大学獣医学部生物環境科学科 野生動物学研究室)

自然豊かな青森県には多くの野生鳥獣が生息しています。しかし、近年様々な野生動物と人との軋轢から問題が発生し、場合によっては深刻な状況になっています。軋轢の原因には動物側と人側の両方に問題があることがほとんどです。

野生動物と人との関係を整理すると、そこにはメリットとデメリットがあります。メリットは大きく3つあり、一つ目は、食料や観光業など産業的な価値、つまり資源的価値、二つ目は生物多様性の保全から得られる環境的価値、三つ目は野生動物の学術、芸術、倫理などの文化的価値があります。

一方、デメリットは様々な野生動物から報告されている人獣共通感染症の問題、農林水産業への経済被害、人里への出没により人を襲うという身体的または心理的な被害です。

これら野生動物との関係を良好にするためには、メリットを増やし、デメリットを減らす必要があります。しかし現状は理想通りの結果になっていません。

今回は最近、青森県に進出し、現在または今後様々な被害が発生すると思われる野生動物について紹介します。

第1弾

ニホンジカ *Cervus nippon*

青森県内では1900年ごろまでニホンジカが生息していましたが、個体数が減少し、しばらくの間ニホンジカの生息は確認されませんでした。1990年ごろから全国的なニホンジカの増加とそれによる被害が顕著になり、青森県でもニホンジカの日撃や交通事故の発生がみられるようになりました。その後2010年ごろから三八地方を中心にニホンジカの日撃が増

加し、この数年の日撃件数は300-400件となり、それに合わせそれまで数頭であった捕獲件数も、2014年ごろから徐々に増加し、2021年度で82件、2022年度で88件となっています。

近年のニホンジカの被害の報告もわずかであることから、青森県では生息域と個体数密度のモニタリングを主に行っていますが、今後爆発的な個体数の増加と被害が出るとも限らないため、隣県と協力した体制が求められます。その対応として第二種特定鳥獣管理計画を策定し、計画的にニホンジカの管理計画を実施しています。

ニホンジカの増加による問題は、苗木や農作物の食害などの農林業の経済的な損失だけでなく、採食や踏圧による植生攪乱、嗜好植物の減少と不嗜好植物の増加による植生環境、樹皮剥ぎによる特定樹種の激減と更新阻害などの生態環境への影響が大きいことです。



自動撮影カメラによる
名久井岳での撮影されたニホンジカ

また、下層植生の食害や踏みつけにより裸地化が進み、特に顕著な影響として表土流出・土壌侵食が現れます。

この現象は土砂崩れや土石流などの災害にも発展する恐れがあり、ニホンジカの増加が農林業被害だけでなく自然破壊を引き起こすことになります。

イノシシ *Sus scrofa*

イノシシの影響は農作物にとどまらず社会的な被害が拡大し、さらに近年はCFS（豚熱）などの感染症の対応も喫緊の課題として、地域においてさまざまな防除対策が行われています。

イノシシの農業被害は全国に広がり 農林水産省による平成30年度の被害額は47億円にもおよび推定個体数は76～101万頭で、ここ29年間で3.5倍に増加しています。

野生鳥獣の被害防止対策として、地域と連携した対策やジビエの活用など様々な施策を行い、一定の効果がみられる地域があるものの、厳しい状況が続いています。

青森県では近年までイノシシの生息が確認されず、被害などに関しても全く取り上げられていませんでした。

しかし、ここ数年、数頭の日撃情報や捕獲が行われ、2017年度 8件20頭、2019年度で15件18頭、2020年度では10件10頭の報告で推移、2021年度は115件の日撃と24頭が捕獲され、昨年2022年度も80件の日撃に捕獲件数も38頭と増加しております。現在、大きな被害は報告されていませんが、全国的な状況を見ても今後様々な獣害が危惧されます。

歴史的な青森県におけるイノシシの被害は、寛永2年（1749年）江戸時代の八戸藩でイノシシによる甚大な被害（猪飢餓）が起き3,000人以上が餓死している記録があります。この背景には、江戸周辺の農村で雑穀から商品価値の高い作物に転換したため、豆類や雑穀の生産が減少し、不足分を補うために水田が少なく畑作が中心だった八戸周辺の農村が雑穀の栽培を増産したことから始まります。豆類や雑穀は3作すると休耕して焼畑で栽培するため、休耕の間、畑は放置され藪化し、畑が荒れます。この

休耕地はイノシシの絶好の餌場をつくることとなります。その結果、イノシシが増え、餌を求めて作物を食べつくし、大きな被害を出すようになったそうです。

原因は異なりますが、耕作放棄地が拡大している中山間地の現状とよく似ています。耕地放棄の常態化で藪が増え、イノシシの餌場と隠れ場所になっているのです。

今後増加するイノシシには、獣害だけでなく、人獣共通感染症の問題やCFSの拡大への関与も注目すべき点ですが、中山間地域の環境保全、つまり里山管理とイノシシの生息環境の保全をすすめ、森の動物を森の中にとどめることも行政的に進めなければ、出没・駆除のイタチごっこは終わらないでしょう。

ツキノワグマ *Ursus thibetanus*

近年日本各地でツキノワグマの市街地への出没は著しく増加しており、青森県も例外ではなく、1990年代に数十から100件程度だった出没件数が、現在では400件を超える件数になっています。

しかし以前は個体数が減少したため1970年代から90年代初めまで保護政策が行われ、各地で生息数の増加がみられていました。その結果2000年代初めにほとんど出没がみられなくなった地区でも、ここ数年毎年のように出没の報告があり、それに伴い有害獣駆除による捕獲数も増加しています。

ツキノワグマの出没は、一般に堅果類の不作や凶作が影響していると言われていますが、森の環境だけの問題ではありません。農村における活力の低下も要因の一つと考えられています。

青森県内の十和田市の人口推移を例にすると、2000年には郊外の沢田、奥瀬、法量地区でクマの日撃件数は0件で、その当時の人口は3地区で6,243人でした。2018年には、4,190人と、人口が2/3になっており、クマの日撃件数も2018年には22件とその後も増加傾向にあります。さらに、人口の減少

だけでなく、高齢化の割合も増加しており、中山間地域における農村の衰退や、住民のライフスタイルの変化も要因にありそうです。また、ツキノワグマの被害は農作物にとどまらず、人身被害に発展することがあり、その場合、重症または致命的な被害となるため、地域の対策は生死に関わる重要な問題になります。

一方で、ツキノワグマの地域における個体群管理も必要になっており、都道府県によっては特定鳥獣保護計画を策定し、ツキノワグマの保護・管理を進めています。すべての行政機関が捕獲等の情報を適正に管理しているわけではありませんが、青森県の出没・目撃情報の収集は、自然保護課がHPで出没情報として公開しており、被害防止に運用できればと思います。



自動撮影カメラによる
名久井岳での撮影されたツキノワグマ

アライグマ *Procyon lotor*

アライグマは北米原産のアライグマ科に属する野生動物で、日本国内には1960年代の飼育施設からの脱走や1970年代のアニメ放映により、ペットとしての飼育ブームとなり国内に輸入されましたが、飼育しにくく逸脱や飼育放棄による放逐などにより野生化が進んだ動物です。

野生化したアライグマの影響は、農業被害に留まらず、家屋や神社仏閣など文化施設への侵入や損壊、アライグマ回虫をはじめとする様々な人獣共通

感染症への危険性など私たちの生活に直接影響を与えています。また、生態系へは在来種との競合や在来生物の捕食など外来種として脅威となる存在になっています。そのため2005年には外来生物法の特定期外生物に指定され積極的な捕殺が行われています。

このように農業被害だけでなく生態系や生活環境など多面的に悪影響を与えるアライグマの被害を軽減させるためには、地域個体群の現状を把握、推移を予測し、捕獲目標を設定した計画的な対策を講じる必要があります。アライグマに関しての過去の出没に関する調査では、津軽地方を中心に2010年代後半に数十件の被害件数がみられていましたが、現在では青森県内全域に被害が拡大し、それに伴い捕獲数も増加しています。

第2弾

オオハクチョウ *Cygnus cygnus* の鉛中毒

今回は青森県に生息する野生動物の人為的な影響を受けているオオハクチョウの鉛中毒の現状を紹介します。

オオハクチョウは1964年に青森県の県鳥に制定された渡り鳥で、10月ごろから越冬のため日本に飛来し翌年の3月ごろにはシベリアに飛び立っていきます。

青森県では、この期間に多くのオオハクチョウを湖沼や田んぼで見かけることになります。県内の最大飛来地は小川原湖となっており、特別天然記念物として平内町の浅所海岸にもオオハクチョウが飛来してきます。

しかし、この生息に大きく影響を与える環境が存在しています。それは野鳥の鉛中毒で、水鳥も暴露されやすい環境に生息しています。水鳥の鉛中毒は、主に鉛散弾をグリットと間違え飲み込むことにより全国で発生しています。

環境庁は、鳥類の鉛中毒を防止する目的で、平成12年の猟期より鉛散弾の使用規制を行う「鉛散弾規

制地域選定要領」を通知し、これを被害防止対策としました。北海道では2004年10月より鉛弾の使用禁止を行うが、希少種の鉛中毒が続いていることから2014年10月よりエゾジカの捕獲目的での鉛弾所持を禁止しています。しかし、鉛散弾の使用は北海道以外では続いており、無毒の散弾の使用も進んでいませんでしたが、2025年によく狩猟用の鉛弾の全国的な使用制限が始まります。

野生動物学研究室では、2008年から青森県鳥獣保護センターに搬入されたオオハクチョウの血中鉛濃度を測定しており、鉛中毒の現状について調査しています。今回は、2008年3月から2022年3月の15年間に青森県鳥獣保護センターに搬入された104羽のオオハクチョウの血中鉛濃度を紹介します。

鳥獣保護センターに15年間収容されたオオハクチョウ104羽の血中鉛濃度は、鉛の暴露が疑われる $11\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上が42羽、そのうち $21\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上が18羽、 $100\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上が8羽存在していました。最高値は $440\mu\text{g}/\text{dl}$ と非常に高濃度の状態のハクチョウもいました(図1)。

幼鳥と成鳥との暴露は、幼鳥34羽中 $11\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上が7羽となり、3羽が $21\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上でした。成鳥は70羽中 $11\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上が35羽となり、 $21\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上が15羽もいました。成鳥は幼鳥に比べ暴露の割合は高くなっています(図2)。

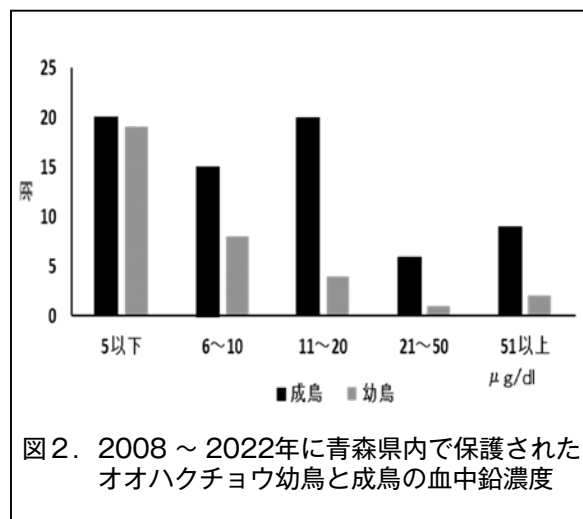


図2. 2008～2022年に青森県内で保護されたオオハクチョウ幼鳥と成鳥の血中鉛濃度

$11\mu\text{g}/\text{dl}$ 以上の暴露個体数の経年変化は、08～10年は19羽中10羽、11～13年は35羽中13羽、14～16年は17羽中8羽、17～19年は20羽中9羽、20～22年は13羽中3羽となっています。

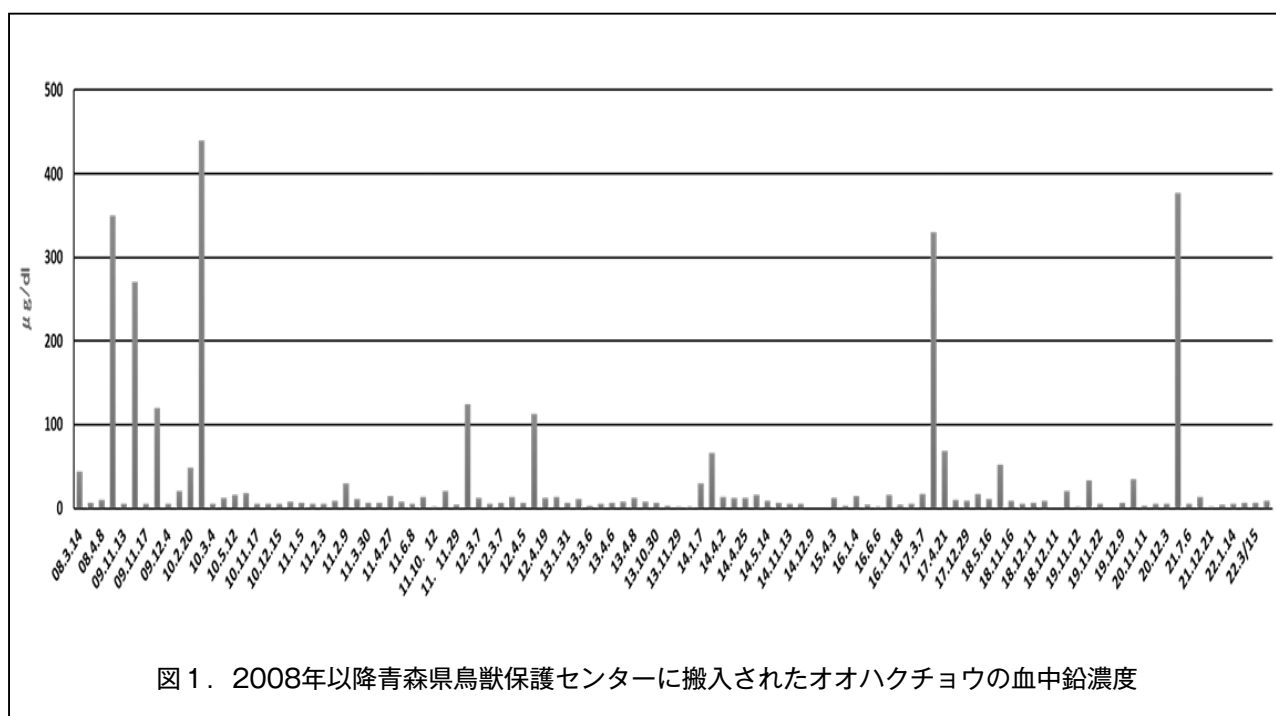


図1. 2008年以降青森県鳥獣保護センターに搬入されたオオハクチョウの血中鉛濃度

そのため、経年的な暴露個体数の割合は年度により変動があるものの若干減少傾向にあります（図3）。

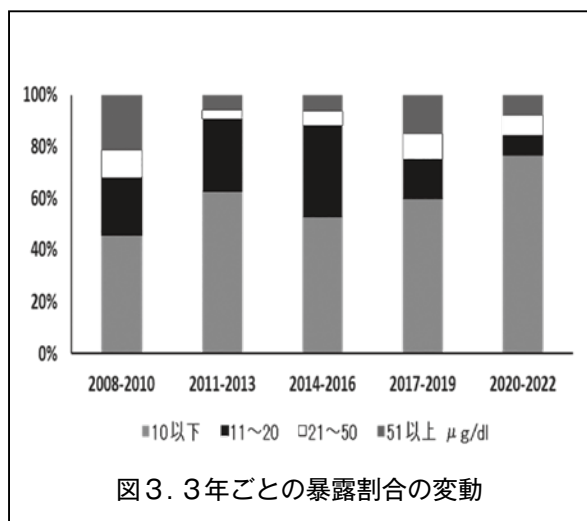


図3. 3年ごとの暴露割合の変動

季節による暴露個体の割合は、大陸からの飛来後の11-12月に低く、越冬後の3月以降は高い傾向がみられています（図4）。

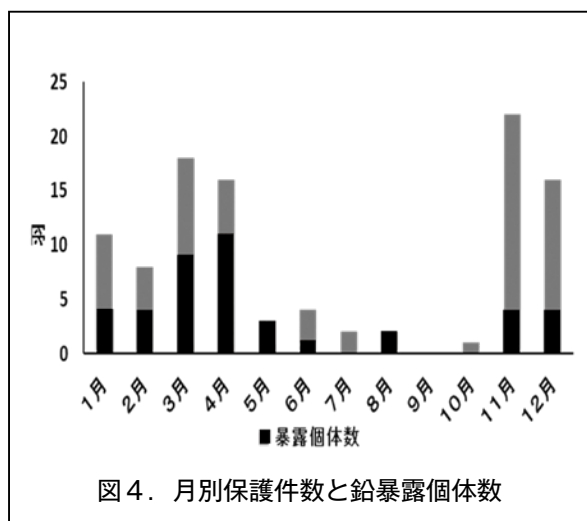


図4. 月別保護件数と鉛暴露個体数

鉛に暴露されていたオオハクチョウの保護地点は平野部で比較的人口の多い市周辺に見られました。

また、鉛散弾規制区になっている小川原湖周辺では1例のみとほとんど暴露個体の保護がみられていません（図5）

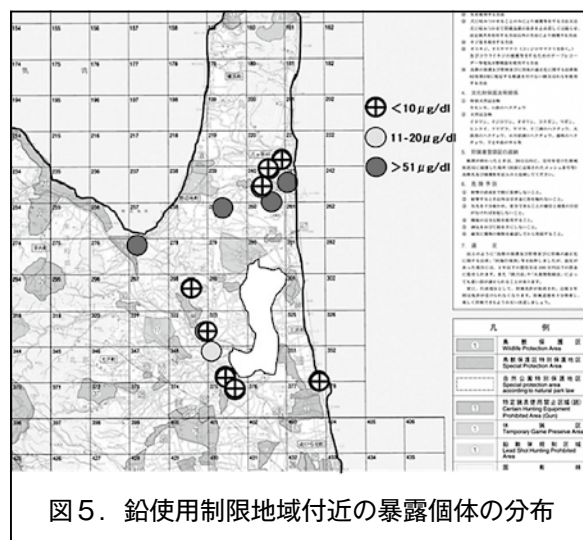


図5. 鉛使用制限地域付近の暴露個体の分布

2008年から2022年までの青森県鳥獣保護センターに搬入されたオオハクチョウの鉛血中濃度の状況から、鉛の暴露は依然として続いており、また、越冬後の個体の暴露割合が比較的高いことから、国内での暴露が推測されます。

おそらくオオハクチョウだけでなく生息域を共にする水鳥にも鉛暴露の可能性が考えられ、野鳥の保全には、鉛に関する国内の生息環境や法規制の整備が必要とされており2025年以降の鉛弾使用制限の状況を注視する必要があります。



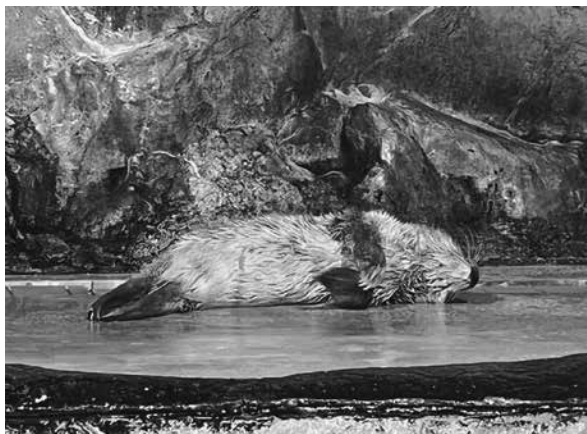
図6. 神経症状がみられるオオハクチョウ

さらに低濃度の暴露個体への影響も今後懸念されます（図6）。

アザラシの赤ちゃん誕生

青森県営浅虫水族館 宮西優輔

2023年5月9日、ゴマフアザラシの赤ちゃんが誕生しました。



それに続き5月17日、ゼニガタアザラシの赤ちゃんも誕生しました。当館でゴマフアザラシとゼニガタアザラシが同じ年に誕生するのは初めてのことです。また、ゼニガタアザラシの出産は2年連続となります。

ゴマフアザラシとゼニガタアザラシは、どちらも日本でみることのできる種類ですが、生態的に異なる点がいくつかあります。ゴマフアザラシは、3～5月にオホーツク海などの海水上で出産・子育てを行い、その後多くの個体は海水と共に北上し、日本近海から離れるとされています。海水上で出産することから、産まれてくる新生児は白い産毛で覆われています。皆さんがアザラシの赤ちゃん聞いて思い浮かべるのはこの姿ではないでしょうか？

一方、ゼニガタアザラシは1年を通し、北海道東部沿岸に定住している唯一のアザラシです。岩礁で誕生するため、新生児は胎内で新生児毛を脱ぎ捨て、成獣と同じゼニガタ模様で誕生します。このように、アザラシの赤ちゃんでも産まれてくる姿は、大きく異なります。

先に誕生した、ゴマフアザラシの母親は「メイ」、父親は「きぼう」です。この2頭の間では第4仔目の誕生となり、当館では3年ぶり7例目となります。深夜午前1時ごろに出産し、朝を迎えても授乳が確認できませんでした。通常は、出産後3～4時間後に初めての授乳が確認できることが多いようです。「メイ」は、授乳を行う姿勢を見せますが、一向に仔獣が授乳しようと動きません。誕生した仔獣の体調が心配されたため、今回は人工哺育に切り替えることになりました。



バックヤードに収容された仔獣は、獣医師の診察を受け体調を確認しましたが特に気になる所見はないということでひと安心しました。当館で、人工哺育を行うのは2018年の「かぶと」に次ぐ2例目です。



す。今回も万が一に備え、あらかじめ人工哺育の準備を行っていましたが、実際に行うとなると緊張と不安が募ります。まず、哺乳瓶での哺乳を試みましたが、哺乳瓶には興味を示さなかったため、カテーテルを直接胃内に挿入しミルクを流し込みました。

出生日の仔獣の体重は7.5kgでしたが、1日に4～5回哺乳を続けると、1か月ほどで21kgまで成長しました。アザラシは生後3週間～1か月で離乳するとされています。



それに備えて、生後2週目を過ぎた頃からミルクに少しずつ魚のミンチを入れ、魚の味に慣れさせました。体表を覆っていた新生児毛は生後2週間が経過すると抜け始め、1か月ですっかりとゴマ模様になりました。

一方、ゼニガタアザラシの母親は「静（しず）」、父親は現時点では不明です。「静」は2022年に「サツキ」を出産しており、今回で2例目となります。



閉館後の18時ごろ胎内で抜け落ちた新生児毛が排出され、20時過ぎに無事出産しました。

誕生した仔獣は活発に動き、「静」も仔獣から離れる様子もありませんでした。

そして、誕生から1時間後の21時過ぎに最初の授乳を確認しました。とりあえず一安心でしたが、授乳が見られていても授乳回数が少なかったり、仔獣の体重増加が思わしくなかったりする場合は人工哺育も視野に入れなければなりません。

しかし、この心配は必要なかったようです。「静」は仔獣と常に寄り添って行動し、数時間おきに授乳を行っていました。



生後2日目の仔獣の体重は18.5kgで、その後は毎日約1kgペースで体重が増加していきました。昨年誕生した「サツキ」とは異なり、展示プールで子育てを進めてもらうことにしました。初めは、「静」が他個体や飼育員に威嚇をしていましたが、日がたつにつれて落ち着いていきました。その後も順調に子育てが続き、生後1か月ほどが経過した6月中旬に授乳期間が終了しました。仔獣の体重は、1か月で35kgまで増加しました。それに対し、母親である「静」の体重は、出産前125kgあったものが、授乳期間終了後は72kgまで減っていました。あらためて子育ての大変さを痛感させられます。

7月に入ると、2頭とも魚を食べる練習が本格的



に始まりました。ゼニガタアザラシの仔獣は、周りの個体を見ていたためか、スムーズに魚を摂餌できるようになり、8月にはターゲットといわれる棒に吻先を付けるトレーニングを開始しました。食欲旺盛で、魚を摂餌したあとも飼育員の後を追いかけています。

対照的にゴマフアザラシの仔獣は、単独での人工哺育であったためか、あまり魚を食べるのが上手ではありません。

魚で口元を刺激し、興味を示してもらえるように根気よくアプローチしていきます。



その後少しずつですが、魚に興味を示し、自ら口を開けて食べられるようになりました。

2頭のアザラシは、7月23日に行われた開館40周年記念セレモニー内で、命名式を行いました。名前は職員から公募し、ゴマフアザラシが「だいき」、ゼニガタアザラシが「すばる」に決まりました。

「だいき」は『大きな希望』という意味が込められており、父親の「きぼう」から取りました。また、誕生後バックヤードで飼育していましたが、7月22日より、展示プールでの展示を開始しました。



「すばる」は、5月生まれの星座にあたるおうし座の中にある星団から付けました。その後、「すばる」には右頭部にアルファベットのSに見える模様があることが、分かりました。



40周年という記念すべき年に、アザラシの赤ちゃんが2頭誕生し、夏休み期間中は多くのお客様がアザラシの展示プールの前で立ち止まって写真などを撮影していました。

これからも、水族館の人気者としてすくすく成長していくことを願っています。是非、アザラシの赤ちゃんの成長した姿を見に浅虫水族館へいらしてみたいかがでしょうか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



浅虫水族館は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

当館は水生生物の展示などを通してまずは生き物や自然に興味や関心を持っていただき、その先に生物多様性の保全など豊かな地球を次世代に引き継いでいくために、どのような行動が大切なのかを考えるきっかけとなる場を目指し、SDGs達成に貢献していきます。

青森県動物愛護センターからのお知らせ

青森県動物愛護センター

このほど、動物愛護センター公式You Tubeチャンネルに、センターが実施している収容動物管理の取り組みなどについて動画を公開しました。

是非、ご覧ください。（「チャンネル登録」、「いいね!」もお忘れなく。）

また、公式Instagramのフォローもよろしくお願いいたします。

◎青森県動物愛護センター公式You Tubeチャンネル「3頭の老犬」

<https://www.youtube.com/watch?v=j3HvrcMbNU4>



◎青森県動物愛護センター公式You Tubeチャンネル「飼い主さんが亡くなった、その後ペットはどうする？」

<https://www.youtube.com/watch?v=uNVpO4iPoT0>



◎青森県動物愛護センター 公式Instagram

https://www.instagram.com/aomori_awc/



北里大学における CT ガイド下生検の実際

北里大学獣医学部附属動物病院

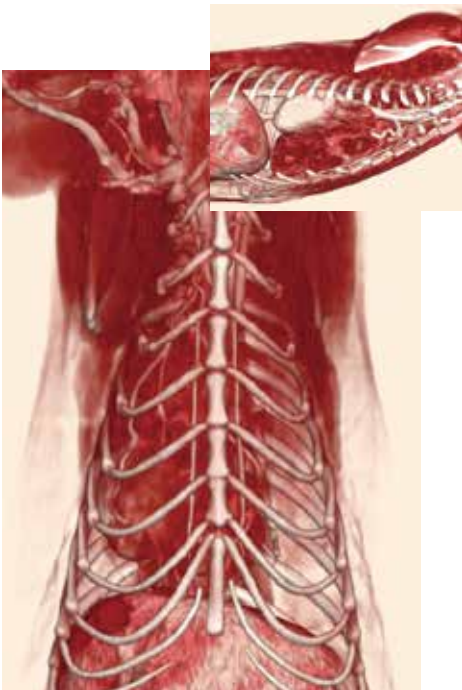


図 1. 3D-CT 像

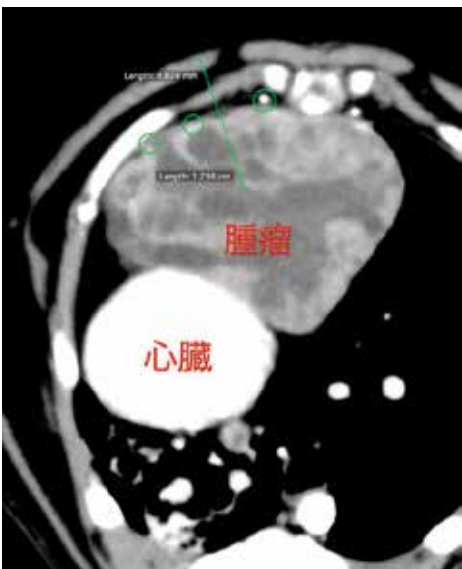


図 2. 穿刺部位の確定

はじめに

CT 画像をリアルタイムで閲覧しながらの針生検あるいは組織生検は、超音波ガイド下の生検に比べ、確実に生検針の先端を捉えることができるとともに、肺や脂肪あるいは骨に囲まれた異常病変に対しても視認しながらアプローチが可能というメリットがある。

一方で CT 撮影中は、被ばく防護の観点から術者が撮影室内に入ることができず、その間に針の固定を専用の器具を用いて行うことが必要である。

大学の動物病院ということもあり、罹患部位への積極的な治療を行うためには、病理検査も積極的に行う必要がある。本稿では、本学での CT ガイド下生検をどのように行っているかを紹介する。

適用部位

頭蓋内を除く、あらゆる組織。頭蓋骨を開孔させる機材が揃えば、ぜひアプローチを試みたい。

症例 (図 1)

ネコ、10 歳、雌

主訴：嘔吐、近医で前胸部の腫瘤が確認された。

CT 検査では、内部に広範囲にわたる壊死巣を保持し、外周に胸骨動脈から分岐する栄養血管が複数走行していた。そのため、エコーガイド下での穿刺よりも、CT ガイド下での穿刺が安全で、かつ生存活性のある組織が採取できると判断した。

穿刺手順

1. CT 画像の診断を厳密に行い、深度を含めた穿刺部位を確定する。(図 1、2) 図の円で囲ったところは、胸骨動脈を含む大きな動脈である。
2. 毛刈り・消毒をし、計画した穿刺位置と合致するようにマーキングをする。(図 3)
3. 15-18G の Tru-Cut 針が刺入できる程度に切皮をし、穿刺ガイド (Rad-Guide®) を設置する。(図 4) 図ではマーキングを兼ねて FNA 用のカテラン針を設置している。
4. 低線量曝射での CT 透視機能を用い、針の位置、刺入角度、穿刺深度を確認する。(図 5) X 線の曝射中に、獣医療スタッフを撮影室内に決して入れない。
5. Tru-Cut 針には 1cm ごとの目盛りが振られているので、先に計画した深度に基づいて刺入を行う。肺だけでなく腹腔であっても、呼吸による体動の影響が出る場所では、人工呼吸下で呼吸を停止させてから、穿刺を行うようにし、体腔内で針による切創を生じさせないようにする。



図 3. 穿刺位置の確認



図 4. 穿刺の準備

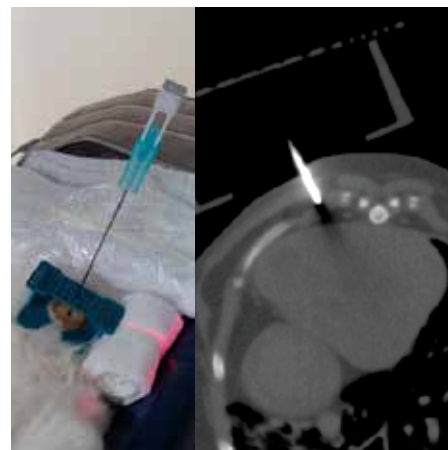


図 5. 刺入直前の確認

まとめ

今回、紹介した例は一般的な胸腺腫であったが、もっと小さい腫瘍の場合や周辺を含気した肺が覆っている場合などでも同様の手順で採材を行っている。肺内への穿刺では気胸、他部位であっても出血の危険性はもちろん生じる。ただし、麻酔を保持した状態でそのまま再度 CT 撮影を行うことで、これらの変化の確認ができる。どのような部位であっても病理学的探索ができるように努力していくので、皆様には本学の CT をぜひ活用していただきたい。

担当：獣医放射線学研究室 柿崎竹彦

斜頸および歩様のふらつきを呈した若齢猫の1例

北里大学附属動物病院 小動物診療センター

動物種：ネコ 品種：スフィンクス
年齢：4ヶ月 性別：未避妊雌 体重：1.26 kg

●当院への受診経緯

2回目のワクチン接種後から歩行困難と左斜頸がみられるようになった。その後歩行は改善されたものの左耳を痒がる、左斜頸の主訴で一般開業動物病院にて耳道洗浄、点耳薬、抗生剤内服による治療を実施。左斜頸はやや改善されたが、発熱、元気食欲低下、起立困難や歩様のふらつきがみられるようになったため、頭蓋内疾患を疑い、当院に紹介。

●身体検査所見

体温 38.2°C、心拍数 210回/min、呼吸数 72回/min、
左斜頸、起立困難、歩様のふらつき

●血液検査所見

WBC 19.26 K/ μ L、NEU 15.54 K/ μ L (Band 0.39 K/ μ L)
その他、特筆すべき異常なし

●ウイルス検査所見

- * ネココロナウイルス (FCoV) 検査結果
一般開業動物病院にてFCoV遺伝子検査(全血)
: 検出されず
当院にてFCoV抗体検査 (1回目) : 抗体値 1600倍
(2回目) : 未検査
- * FIV抗体 : (-)
- * FeLV抗原 : (-)

●耳漏検査所見

左耳垢(+++)、右耳垢(+)
細菌、酵母用真菌、糸状菌、クリプトコッカスの発育は認められない。

●頭部X線検査所見

R10° V-CdDO像では左鼓室胞の不透過性の亢進が観察された(図1, 矢印)。

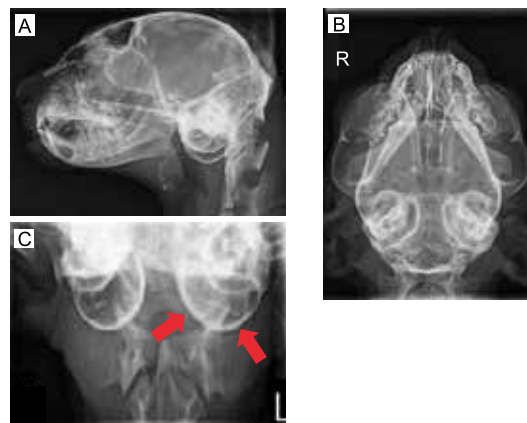


図1. 中耳炎疑いの猫のX線画像

A : ラテラル像 B : DV像 C : Ro10° V-CdDO像 (通常の吻側 - 尾側撮影から10度背側に反らせて撮影)

●CT, MRI 検査所見

* 麻酔プロトコール

前投与薬としてブトルフェール 0.1 mg/kgをIV後、プロポフォールを緩徐に静脈投与し、咽頭反射が消失したことを確認して気管挿管を実施し、イソフルランにて麻酔維持を行った。

* CT検査所見

左鼓室胞内の不透過性亢進像(図2, A : 矢印)は観察されたが、骨迷路の破壊は認められない(図2, B)。

* MRI検査所見

左鼓室胞内にはT2WI高信号が認められる(図3, A : 矢印)。内耳構造は、T2WIでは両側とも異常所見は認められないが、(図3, A : 矢頭)、FLAIRでは、右内耳は正常に低信号となっているものの、左内耳は高信号として観察される。左鼓室胞内はT2W1およびFLAIRいずれにおいても高信号である。造影T1W1では、左鼓室胞ならびに左内耳の周辺に造影増強が認められる(図4, H : 矢印)。

吻側から尾側にかけてのMRI横断像(図4)においては、側脳室の拡大、脳溝の消失、第3脳室および第4脳室の拡大が認められる。造影T1W1では、脳室周囲ならびに脳実質における明らかな異常所見は認められない。

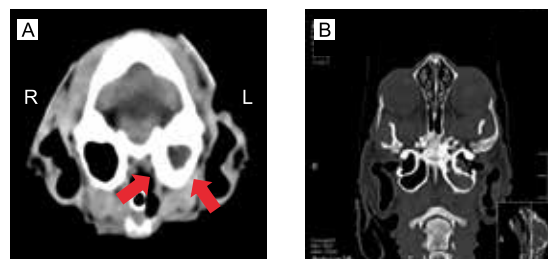


図2. 中耳炎疑いの猫のCT画像

A : 横断像 (軟部組織条件) B : 冠状断像 (骨条件)

●診断

頭部X線DV像では頭蓋骨が重複するため鼓室胞の不透過性の評価は困難であるが、R10° V-CdDO像では左鼓室胞の不透過性の亢進が認められた。CT検査では左鼓室胞内の不透過物が明瞭となったものの、CT検査では内耳の評価は困難であった。MRI検査により内耳の評価は可能となり、本症例では骨迷路の破壊はないものの内耳への貯留物を軽度認めため、中内耳炎と診断した。

また、MRI検査では、脳室の拡大、脳溝の消失は認められたが、脳炎や髄膜炎を疑う所見は認められなかった。

以上より、

- * 中内耳炎
- * 内水頭症疑い

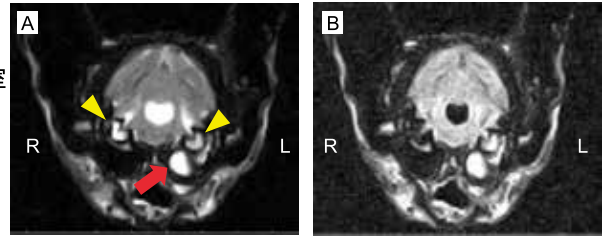


図3. 中内耳炎疑いの猫のMRI画像
A: 横断 (T2WI) B: 横断像 (FLAIR)

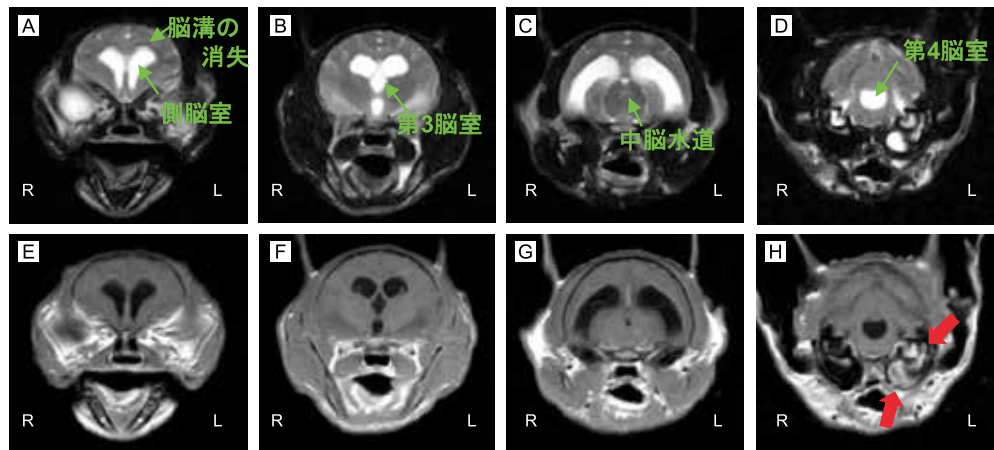


図4. 水頭症疑いの猫のMRI画像 A~D: 横断像 (T2WI) E~H: 横断像 (造影T1W1)

●ノート

斜頸の症状は、前庭系障害に起因するため、それが末梢性前庭障害（外耳炎、中耳炎、内耳炎、鼻咽頭ポリープなどの有茎性の腫瘍、特発性、腫瘍、耳毒性のある薬物、外傷、先天性障害）か中枢性前庭障害（炎症性疾患、腫瘍、メトロニダゾール中毒、脳血管障害、原因不明）かのいずれかによる。また、歩様のふらつきの原因として、頭蓋内を含めた神経的な異常や重度の貧血、ウイルス感染による脳炎や髄膜炎、心臓病、肝臓病、腎臓病、交通事故による脊髄損傷などがあげられる。

猫において中耳炎は稀である。犬の中耳炎は外耳炎から二次的に生じることが圧倒的に多い。一方、猫の中耳炎は外耳炎から波及することは少なく、猫の原発性中耳炎は、耳管から中耳に上行する感染の結果として発生することが多いと思われる。猫の中耳炎の発症の正確なメカニズムは報告されていないが、若齢時での慢性ウイルス性上気道感染は、猫の中耳炎の開始に役割を果たす可能性があるという仮説が立てられている。また、耳ダニによる鼓膜損傷または耳管を介したポリープの進展の結果として続発性中耳炎を有する可能性がある⁽¹⁾。

本症例では、2回目のワクチン接種後から斜頸がみられるようになったこと、紹介元の動物病院において当院受診の約5日前から発熱の原因としてヘルペスウイルスやクラミジアなどを想定し、抗生剤の処方を変更し、かつステロイドの追加により症状の改善傾向がみられてきたことをふまえ、ウイルス性上気道感染によって中耳炎が生じた可能性があり、特にワクチン接種による副反応が感染の引き金となったと考えた。当院では耳漏を採取し、薬剤感受性試験は実施したものの、猫上部呼吸器疾患のウイルス検査は実施しなかったことが悔やまれる。

MRI検査では中内耳炎に加え、水頭症も疑われた。水頭症とは、脳脊髄液(CSF)の生産過剰、循環経路の閉塞、あるいはCSF吸収障害により、脳室系（内水頭症）あるいはくも膜下腔（外水頭症）に過剰にCSFが貯留した状態のことを指す。水頭症は発生時期により先天性水頭症と後天性水頭症に分類される。犬の先天性水頭症ではCSFの循環経路の閉塞が一般的であるが、猫の先天性水頭症は稀である。猫の後天性水頭症では最も考えられるのが感染性疾患であり、なかでも猫伝染性腹膜炎(FIP)ウイルス性脳炎があげられる。本症例では、CSFの採取は困難であったため実施していない。そのため、FIP感染を明らかに除外することはできないが、MRI画像上、脳室の拡大や脳圧亢進は認められるものの、FIPウイルス性脳炎を疑う所見はみられないこと、患者がFIPウイルスキャリアである可能性が低いことから先天性水頭症が疑われる。このため、先天的な形態異常が感染等を引き起こしやすい要因のひとつとも推察された。

本症例は、イソバイド(1.5mL SID)、プレドニン(0.45mg/kg BID)服用数日後から斜頸およびふらつきは改善された（中内耳炎の治療として鼓膜を穿孔し、中耳に貯留した液体を除去する治療を提案したが、飼い主様の意志により現時点ではまだ実施していない）。歩様のふらつきが水頭症による脳圧亢進の影響なのか中内耳炎の影響なのかは不明ではあるが、猫においても水頭症などの中枢性疾患の可能性を除外してはならない。

(1) Luis N. G. Diagnosis and treatment of otitis media in dogs and cats. Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice. 34 (2) : 469-487. 2004.

鉍塩を転がす話

上十三支部 有山 賢一

(独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場)

1 そもそも

昨年(2022)の秋冬は、肥育試験牛約500頭の診療を担当しておりました。と言っても、具合が悪くなるのは、10月に家畜改良センターの肉用牛牧場(十勝牧場、鳥取牧場、宮崎牧場)からの導入牛とこれらと同居することになる奥羽牧場生産牛約120頭が中心です。これらの牛についてのリスク要因としては、①免疫学的な背景の異なる牛が同居することによる疾病伝播リスク ②輸送ストレスによる疾病発症リスク ③秋から冬に向かっの気温低下による疾病発症リスクが考えられます。

ステーション検定で種雄牛の評価・選抜をする仕組みを採用した時点で、これらのリスクは覚悟しなければならぬのですが、今回は、NSAIDsとペニシリンの治療によく反応してくれて、牛群全体に広がることなく、うまくコントロールすることができました。

2 次に

寒い時期に多発する疾病として、次に思い付くのは、尿石症です。病理発生としては、①水分摂取減少 ②尿pHアルカリ化 ③尿石の析出 ④排尿障害へと進行します。尿道の長い雄牛、去勢牛で問題になります。

奥羽牧場では、②尿pHアルカリ化の対策として去勢牛には塩化アンモニウム入り鉍塩を予め給与し、尿pHを酸性に傾けることで予防しています。実際に尿石の付着や排尿姿勢の異常(痛そう!)が観察されるのは、年間1-2頭でしょうか。通常は、ウラジロガシエキスの製剤で治療すれば事なきを得

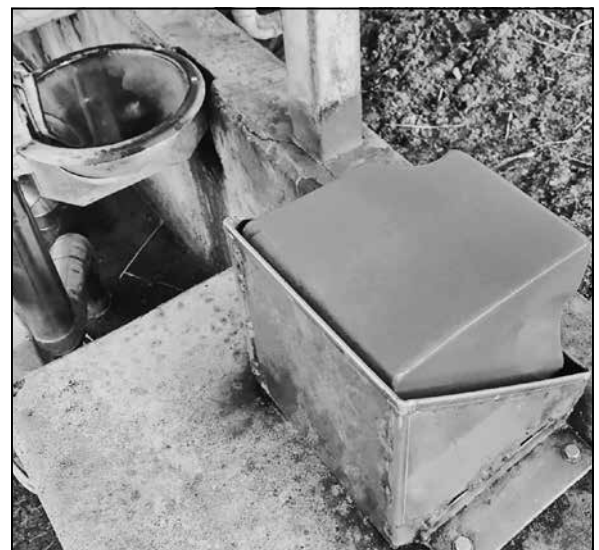
るのですが、最悪の場合は、尿毒症の発症も想定する必要があります。

今回、①水分摂取減少への対策としてウォーターカップ式水槽の牛舎でこんなことやってみました。(写真参照：ウォーターカップ式水槽と20kgの鉍塩)

(1) 診療というか実態上見回りのついでに、ウォーターカップ式水槽を満水にしておく。給餌の後など水槽に水が入っていれば、牛は飲みに来るので、飲んだ分は可能な限り補充してきました(1日当たり2-3回?)。

実際にやってみるとウォーターカップ式水槽の水栓の凍結、保温ヒーターの断線等寒い時期なりの不具合に遭遇して、勉強になりました。

(2) 水槽のそばにある鉍塩の所在確認：写真でもわかる通り20kgの鉍塩は、扱う人間の方が心してかからねば、腰を痛めてしまうような代物です。ステンレス製の収納ケースに収まると動く要素は考えに



(写真：ウォーターカップ式水槽(奥)と20kgの鉍塩(手前))

くいで、目視で確認すれば終了なのですが、まれに牛床に転がっている時があります。想像するに、頭部、主に舌で掻き出しているのでしょうか、牛の体幹、恐るべし！であります。

3 本題です

牛の場合、鉍塩はどれくらい給与したらいいのでしょうか？奥羽牧場の場合、鉍塩は、牛が自由に舐めることができるように補充していけばいいのですが、準備の都合もあります。

一応の目安として、日本飼養標準 肉用牛（2008年版）によれば、

- ・“乾物摂取量（DMI）は肉用牛の場合、体重の1.4-3.0%の間にあるのが普通。”
- ・“NaとClは通常食塩（NaCl）で補給され、飼料DM中0.26%あれば牛の要求量は満たされる。”

と記載があるので、これらを基に食塩要求量を試算します。

体重500kg、乾物摂取量（DMI）体重の1.4%、食塩要求量：飼料DM中0.26%で試算すると18.2gになります。

日本飼養標準の基本となる考え方に「肉用牛の標準的な条件下における…主な養分についてその要求量を示した」とあり、実際には、若干多めに準備する必要があります。1割増しの1日1頭当たり20g程度で考えるのが妥当なところでしょうか。

なお、「日本飼養標準 肉用牛」は今年の3月に6回目の改訂版として2022年版が発行されております。これによれば、乾物摂取量（DMI）の記載は、体重別、増体日量別に示されるようになり、無機物要求量の中でナトリウムの値、飼料給与量に乗じる安全率（5-10%）が示されております。

ナトリウムの要求量（DM中%）は、0.06-0.08、泌乳初期は0.10となっています。食塩に換算すると係数（ $2.54 = 58.4 \text{ (NaClの分子量)} / 23.0 \text{ (Naの分子量)}$ ）をかけて、0.15-0.2 泌乳初期0.25となりました。2008年版の値より少ない値になるので、牛

でも、「若干減塩しましょうね」ということになるのでしょうか。

今回の改定で新たに書き加えられた項目に「6.6 ふん尿量、環境負荷物質排せつ量の低減化と栄養管理」があります。これは、畜産業に由来する地球温暖化ガスについて、対策が必要なところからの記載であると思われます

具体的には消化管内発酵に由来するメタンと排せつ物管理に由来する一酸化二窒素をどうコントロールするかということになります。両者は、地球温暖化係数が高く（メタン：28倍、一酸化二窒素：300倍）、温室効果ガス削減対策として取り組んだ場合、メタンで1トンの排出削減は、炭酸ガス28トンの排出削減に相当します。技術開発としてチャレンジングであるばかりでなく、社会実装された場合、温室効果ガス削減対策への取り組みに対するインセンティブ支払い制度など畜産業の収益構造を変えるような大きなインパクトとなることが期待されます。

ということで、「日本飼養標準 肉用牛（2022年版）」機会があれば、お手に取ってみることをお勧めします。それでは、また。



田舎館食検 theファイナル

弘前支部 松坂 千亜紀

(田舎館食肉衛生検査所所長)

田舎館食肉衛生検査所をご存じでしょうか。

と畜検査をはじめとした食肉の安全に関する業務を行う県の出先機関で、田舎館村にあります。

当所は同村の2か所のと畜場に職員を派遣してと畜検査を行っていますが、そのうちの1か所のと畜場が今年度末で閉鎖することとなっており、それに伴い我が庁舎も解体が予定されていますので、これまでの歩みを振り返ってみたいと思います。

過去の事柄は残っている記録から拾い集めたものですので、当時のことをご存じの皆様のご記憶と食い違う点もあるかと存じますが、何卒ご容赦願います。

1 食肉衛生検査所設置、庁舎竣工

本県の食肉衛生検査所（青森県食肉衛生検査所）は、昭和57年に食肉の科学的検査を総合的に実施する機関として十和田市に本所、田舎館村に支所が設置され、所長、総務課3名、検査課12名、田舎館支所10名（支所長含む）の26名でスタートしました。

自前の庁舎はなく、本所は十和田食肉センター内、田舎館支所は津軽食肉センター内の一角を間借りして事務等を行っていました。田舎館支所は、翌年、と畜場管理者である青森畜産公社の役員の方の計らいで津軽食肉センター管理棟向かい側の別棟に移転させていただき、検査機能の充実を図ることができたとのことです。

昭和60年に青森県食肉衛生検査所が廃止となり、十和田食肉衛生検査所、田舎館食肉衛生検査所が設置されて、当所は独立公署となりました。

その内部組織は所長以下、総務課3名、検査課9名となり、翌61年に新庁舎（現在の庁舎）が完成しました。



旧津軽食肉センター別棟の現在

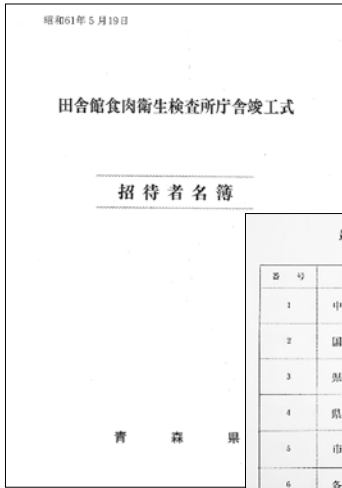
新庁舎の設計は独立公署になる前年から機能的検査所を目指し、若手のと畜検査員達が夜遅くまで検討して行ったとのことでした。

そして、昭和61年3月、鉄筋コンクリート2階建建物延面積358.52㎡の田舎館食肉衛生検査所庁舎が竣工しました。同年5月には、厚生省や国会議員、本県関係者等約140名を招待して盛大に竣工式が行われました。

独立公署になった昭和60年当時は、(株)青森畜産公社津軽食肉センター（田舎館村）、青森食肉センター（青森市）、石村畜産食肉処理センター（浪岡町、後に(株)ニッセキミート食肉処理センターとなる）の3と畜場を管轄し、青森市、浪岡町のと



S61.5.19竣工式リーフレット



竣工式招待者名簿

番号	氏名	人数
1	中央官庁	6
2	国会議員	9
3	県議会議員	6
4	県議会環境厚生常任委員	8
5	市町村村長	35
6	各種団体	14
7	と畜場関係及びその他関係者	13
8	工事関係者	5
9	県職員(本庁)	19
10	県職員(出先機関)	20
計		136



竣工式 来賓祝辞

畜場には各2名の検査員を派遣してと畜検査を行っていました。

平成4年に青森食肉センター、平成5年には(株)ニッセキミート食肉処理センターが廃業し、管轄と畜場は津軽食肉センターのみとなりました。

2 食鳥処理場関係業務

平成3年にいわゆる食鳥処理法が施行され、平成4年から食鳥検査等の業務が開始されました。

管内の食鳥処理場は年間処理羽数30万羽以下の処理場だったため食鳥検査の業務はありませんでしたが、青森市と浪岡町に計4か所あった認定小規模食



二重扉のクリーンルーム(当所微生物室内)

鳥処理場への立入検査等が新たな業務として追加されました。

その後、大鰐町の認定小規模食鳥処理場1か所が加わったものの、平成18年10月の青森市保健所設置に伴い、青森市と浪岡町(青森市と合併しました)の4か所の認定小規模食鳥処理場の業務を青森市に移管することになりました。

現在も大鰐町の認定小規模食鳥処理場は稼働しており、定期的な立入検査とHACCPに沿った衛生管理の実施に関する指導を行っています。

3 BSEに関する検査(TSEスクリーニング検査またはサーベイランス)

平成13年から全国の食肉衛生検査所でBSEのスクリーニング検査が開始され、当時、牛のと畜検査を行っていた当所でもスクリーニング検査を実施しました。解剖室としていた場所をBSE検査室とし、専



安全キャビネット

用の安全キャビネット等の検査機器を整備し、検査にあたりました。

その後、BSE対策が進んだことにより検査対象月齢が徐々に引き上げられ、平成29年2月から24か月齢以上の神経症状が疑われるもの及び全身症状を呈するものが検査対象とされました。平成30年度以降、県内でのスクリーニング検査実績は0頭です。

当所では平成13年度から平成25年度までに牛2,543頭、めん羊・山羊108頭の検査を行い、陽性は確認されませんでした。

4 馬のと畜場

平成19年4月に当所の内部組織が廃止され、「課」がなくなりました。

そして、平成26年4月、(株)青森畜産公社から譲渡された津軽食肉センターは日本フードパッカー津軽(株)のと畜場となり、牛、めん羊、山羊の処理を中止しました。平成28年3月には馬の処理が中止され、豚専用のと畜場となりました。事業者は譲り受けた当初、現在のと畜場より規模の大きい豚のと畜場の新設を計画していたそうですが、建築資材高騰等のため断念したとのことでした。

平成28年4月、豚専用と畜場隣接地に新たに設置された馬専用のと畜場(ATO食肉センター)で馬の処理が開始され、現在に至っています。

昨年度末、十和田のと畜場で馬の処理が中止されたため、馬の処理を行う県内唯一のと畜場になりました。



ATO食肉センター

5 HACCPの制度化

令和3年6月からHACCPに基づく衛生管理の実施が本格施行されました。

HACCPによる衛生管理は事業者が自主的に行うものですが、と畜場等においては事業者が適切にHACCPを運用しているか、と畜検査員が確認・評価することが求められており、場内の衛生状況・作業員の作業実施状況の点検、枝肉の微生物試験等を行って外部検証をしています。

制度化されたとはいえ、まだ、計画どおりの衛生管理は行われておらず、引き続き根気よく同じ指導をしていく必要があると感じています(豚のと畜場は今年度で閉鎖されますが・・・)。

はじめに記しましたが、日本フードパッカー津軽(株)のと畜場が今年度末で閉鎖され、同社から借り受けた敷地に建築されている当所庁舎も来年度中に解体されることが決まっています。

現在、決まっているのはこれだけなので、今後の解体に向けた取り組みなどは次の機会に紹介できればと考えております。

国道4号線 寄り道スポット

青森支部 松浦 貢

はじめに

私は、現在、食鳥検査センターの検査員として青森市内から十和田市内にある食鳥処理場に通勤しています。

今回、以前に仕事の帰りに寄り道した、野辺地町の歴史的なスポットを紹介したいと思います。

①北前船

野辺地町は、下北半島の付け根に位置し、古くから北前船を始めとした海の交通の要所として栄えた港町です。

復元された北前船の「みちのく丸」や、日本でも最古と言われる石の常夜灯（じょうやとう）は、野辺地の漁港にほどちかい常夜灯公園で見ることができます。

「みちのく丸」の全長はなんと32mと巨大なもので、載貨重量150t、帆柱の高さが28m。帆船なのでエンジンなどの動力はありません。

この北前船は、歴史や文化を後世に伝えるために、船大工16人によって平成17年10月に建造されたそうです。建造期間約9か月とのことでした。

なお、藩政時代の栄華を伝える「のへじ祇園まつり」は北前船によって伝えられたとされています。



北前船



常夜灯

②常夜灯

公園内にある常夜灯は、夜間に航行する船が安全に出入りできるよう、1827年に廻船問屋の野村治三郎によって建てられたそうです。現存する石の常夜灯の中で極めて古い物とされています。

現在では北前船の寄港地として栄えた歴史を伝える町のシンボルとなっているそうです。

③藩境界塚

野辺地町の国道線沿いにひっそりと存在する県史跡（藩境界塚）は、流れの早い国道沿いの為、何気なく通過してしまう方も多いためです。

藩境界塚は、青森方面から野辺地方面に向うと野辺地町に入ってまもなく左側に位置しています。その場所の駐車場からは、藩境界塚と陸奥湾を見降ろすことができます。

駐車場の一角に設けられた「馬門御番所（まかどごばんしょ）」。御番所は江戸時代（150年前）には藩境として通行人や物資の出入りを厳しく取り締まっていたそうです。（怪しい輩は即「御用！」）

そして御番所であったであろう建物は、今では公



馬門御番所と北前船の看板



御番所（正面）

衆トイレとして使われています。

なお、実際に馬門御番所が存在した場所は、ここから1kmほど野辺地方面へ移動した場所だったとのこと。つまりここは「御番所風に復元された公衆トイレ」だったので。

すぐ隣には復元された「高札」もありました。覚書として「手形が無い者は武具や火薬、人、染料などの持ち出しを堅く禁じる」という内容が書かれています。

ちなみに、南部領から津軽領へ向かうには、この馬門御番所で許可をもらい、さらに現在の平内町に



御番所の並びにある高札



陸奥湾と野辺地町



御番所から望む陸奥湾

ある「狩場沢御番所」で許可を得る必要があったとのこと。厳しいですね…

復元された馬門御番所隣の駐車場の脇には、水路と共に降りていける歩道がありました。ここが藩境界塚へと向かう通路になっております。

その坂道を下っていくと、芝生の広場が広がり、松の木と桜の木も数本ありました。芝生はとてもきれいに整備され、すぐ目の前で海を眺めることができ、なかなか静かで気持ちのよい場所です！

陸奥湾と、野辺地町の沿岸部がしっかりと見られ、晴れているときは下北半島までも見渡せる大パノラマスポットになるようです。

すっかり海に見とれていたのですが、どこが藩境界塚？と思い見渡したところ、古墳のようなものがいくつかありました。これが藩境界塚のようです。

塚は南部藩側に2基、小さな川を挟んで、津軽藩にも2基の塚が並んでおり、川を挟んで、「従是東南盛岡領」、「従是西北津軽本次郎領」と書かれた木製の標識が目に入りました。

ちなみにこの藩境界塚の間を流れる小さな川ですが「二本又川（ふたまたがわ）」もしくは「境の川」



藩境界塚の間を流れる二本又川（ふたまたがわ）



野辺地町側2基の塚（南部藩側）



平内町側2基の塚（津軽藩側）



平内町から見た藩境界塚 4基

と呼ばれているそうです。

現在では小さな橋がかけられていて、もちろんですが自由に行き来することができます。二本又川の流れる水は、そのまま海岸へと流れ出し、そして陸奥湾の海水へとなっています。

ほんの150年ほど前までは、藩をまたぐことが非

常に厳しい時代であった。その事実を現代に伝える野辺地町の藩境界塚でした。

最後になりますが、どんなに厳しい時代でも、海を眺めたいという人々の気持ちは、今も昔も変わらなかったのだらうと感じました。

歴史メモ

野辺地戦争、聞いたことがありますか！

ご承知のとおり、戊辰戦争は1868年（慶応4・明治元年）から新政府軍（明治政府）と旧幕府側との間に戦われた内戦です。青森県内では、明治元年9月23日に野辺地町において、**野辺地戦争**が勃発します。

奥羽越列藩同盟側の盛岡藩は9月20日に新政府に降伏し、22日に降伏が受け入れられていました。しかし、新政府側の津軽藩（弘前藩・黒石藩）は、突如、野辺地町を襲いましたが、結局盛岡藩が勝利しました。この内戦で犠牲になった方々のお墓が野辺地町字鳥井平36にあります。歴史に興味のある方は是非見てください。



称号記及び感謝状の授与について

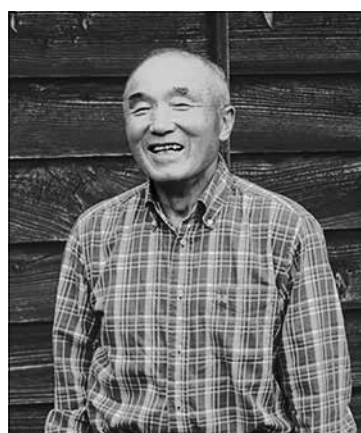
事務局

令和5年6月14日（水）にアップルパレス青森で開催された、公益社団法人青森県獣医師会第75回定時総会に出席できなかった表彰者の方々を訪問しました。

・名誉会員称号記 第107号 三八支部獣医師会 木村勝彦先生



称号記を授与する小山田会長



木村先生

6月23日（金）、小山田会長と盛田事務局長が直接、木村先生の自宅を訪問し、称号記を手渡しました。

木村先生からは、今回、同様に称号記を授与された大学時代の同期生である三浦一義先生、三星陽子先生のお話や家業である酪農業を経営した経緯などについて、お話を伺いました。また、お話の途中で自家製の“おいしい牛乳”を飲ませていただきました。今後も名誉会員としてご活躍を祈念しております。

・青森県獣医師会職員永年勤続表彰 前西北支部獣医師会 小山内裕子氏



感謝の気持ちを伝える小山内さん

6月22日（木）、盛田事務局長が“つがる市”の小山内さんの自宅を訪ね、40年の永きにわたる支部獣医師会の勤務に敬意を表し、勤続40年の表彰状と記念品を手渡しました。

小山内さんから「昭和54年9月から正式に西北支部獣医師会に採用され、西北支部獣医師会の仕事を43年間勤務いたしました。これまで、仕事を継続できたのも私を支えてくれた会員の皆様のおかげです。本当に、お世話になりました。皆様によろしくお伝えください。」との感謝の言葉をいただきました。

公益社団法人日本獣医師会永年勤続表彰について

事務局

令和5年6月27日(火)、東京都元赤坂の明治記念館において日本獣医師会第80回通常総会が開催され、当会事務職員の伊東 明子主事が表彰されました。



伊東主事と藏内会長

表彰は、公益社団法人日本獣医師会職員永年勤続表彰規程に基づく20年勤続表彰によるものです。

なお、当日、藏内 勇夫 日本獣医師会会長から伊東主事へ表彰状が手渡されました。

受賞された伊東主事から、「本当にありがとうございます。これを励みに今後も職務に精励し青森県獣医師会の発展のため頑張ります。」とコメントをいただきました。

〔新入会員紹介〕

今年度入会された公務員獣医師の方を紹介します



○ 高 田 公 平 (たかだ こうへい) 上十三支部獣医師会

今年度から十和田食肉衛生検査所に配属となりました、高田公平と申します。出身は十和田市で、酪農学園大学を卒業後、この地へ帰ってきました。

学生時代は獣医病理学研究室に所属し、先輩や仲間たちと汗水たらしながら馬や牛を病理解剖し、組織切片を作製していました。また、様々な園館動物や元競走馬などを病理解剖し勉強させていただいたことは、とても貴重な経験になったと思います。

現在の業務は、主に豚と牛のと畜検査ですが、学生時代の経験が役立っているのを実感しております。

普段の業務では、いつも周りの皆様にフォローさせていただいており、これからもご迷惑をかけることになると思いますが、日々成長していきたいと思っています。

趣味と呼べるものは家でゲームをすることぐらいしかありませんが、今後青森県で暮らしていく身として、能動的に外に出て活動していけたらと思います。

いつか、どこかで、誰かのなにかになれるよう日々戦っていこうと思いますのでご指導ご鞭撻のほど今後ともよろしく願いいたします。

令和6年度 公益社団法人青森県獣医師会検査員募集

公益社団法人青森県獣医師会では、平成15年度から青森県の委任を受け、28名の本会獣医師会員が県内6か所の食鳥処理場において食鳥検査業務に従事しております。

令和6年度採用予定の検査員（獣医師）を下記のとおり募集します。

1 募集人員

常勤検査員 若干名

2 応募資格

- (1) 獣医師（本会会員であること。）
- (2) 鶏病性検査の経験を有すること
- (3) 満65歳以下（採用時）

3 募集期間

令和5年10月10日から10月27日まで

4 業務内容

食鳥処理場において食鳥検査業務等に従事

5 採用予定年月日

令和6年4月1日

6 就業場所

- (1) 県内6食鳥処理場（十和田市、三沢市
横浜町、五戸町、田子町、階上町）
- (2) 公益社団法人青森県獣医師会
食鳥検査センター（十和田市）

7 提出書類

- (1) 履歴書（市販のもので可）
- (2) 獣医師免許証の写し
- (3) 提出先：募集期間内に右記の問い合わせ先へ提出（郵送可）。

8 選考方法

- (1) 書類審査の後、面接試験を実施します。
- (2) 面接試験の日時・場所は、後日応募者に通知します。
- (3) 採用の場合、直接本人に通知します。

9 待遇・勤務条件等

- (1) 給与：本会給与規程による
- (2) 賞与：年間 5.55か月
- (3) 諸手当：通勤手当、住居手当、寒冷地手当
単身赴任手当、移転料等あり
- (4) 福利厚生：健康診断、社会保険
- (5) 退職金制度：有
- (6) 勤務日数：原則として週5日
- (7) 勤務時間：基本7時間45分
(8：30～17：00 休憩時間12：00～12：45)
※ただし、食鳥処理場の稼働時間に合わせ出退勤する。
- (8) ①休暇・休日：日曜、祝日、年末年始
②有給休暇（食鳥処理場稼働日は勤務）

10 その他

応募書類等は、応募に関する事務のみに使用し、その他には使用しません。

【お問い合わせ先】

〒030-0813

青森県青森市松原二丁目8番2号

☎ 017-722-5989 FAX 017-722-6010

公益社団法人青森県獣医師会事務局

担当：盛田

◎会員の動向

(1) 会員数（正会員） (人)

令和4 年度末	令和5年度		令和5年 9月30日 現在
	入会	退会	
399	10	13	396

(2) 支部別正会員数 (人)

青森	弘前	三八	西北	上十三	下北	計
60	29	114	22	149	22	396
6	1	3	1	7	3	21

(下段は名誉会員数で内数)

【退会会員】

支部	氏名	退会年月日
西北	樽沢 知世	令和5年7月27日
上十三	吉野 仁美	令和5年9月30日

【逝去会員】

支部	氏名	逝去年月日	年齢
三八	成田 紋治	令和5年7月3日	74歳
	堤 栄作	令和5年7月15日	94歳

(3) 賛助会員

会員数	1
名称	株式会社クレディセゾン

◎事務日誌

1 事務関係

(1) 事務事業打合せ会議

期日：令和5年7月3日（月）

場所：青森市 青森県動物愛護センター

内容：狂犬病予防注射実績、愛玩動物看護師法の運用、狂犬病ワクチン副作用情報等

参集：会長ほか各支部長、支部事務職員
事務局長、事務局次長ほか

(2) 第4回理事会

期日：令和5年9月8日（金）

場所：青森市 青森県獣医師会館

内容：公2剰余金解消、令和5年度事業進捗状況、その他保健衛生課からの報告事項

参集：会長ほか役員、事務局長、事務局
県保健衛生課担当者

2 狂犬病予防・動物愛護事業関係

(1) 狂犬病予防対策及び動物愛護管理対策担当者会議及び犬猫慰霊祭

期日：令和5年7月3日（月）

場所：青森市 青森県動物愛護センター

内容：狂犬病予防対策、動物愛護等

参集：県内40市町村担当者、県保健衛生課担当
動物愛護センター所長ほか

出席：会長、各支部長、支部事務担当者

事務局長、事務局

(2) 動物愛護フェスティバル2023

動物愛護ポスター表彰

期日：令和5年9月23日（土）

場所：青森市 青森県動物愛護センター

参集：会長、事務局長、事務局次長

3 食鳥検査事業関係

(1) 令和5年度第1回食鳥検査員技術研修会

期日：令和5年7月1日（土）

場所：十和田市 食鳥検査センター

内容：防護服脱着訓練、県内で発生した高病原性鳥インフルエンザ防疫対応について

参集：県畜産課総括主幹、十和田家保長

検査員、特定事業運営委員

会長、センター所長、次長、事務局ほか

(2) 第2回養鶏管理獣医師研修会

期日：令和5年8月23日（水）

場所：東京都 AP東京八重洲

内容：養鶏臨床の診療、鶏解剖の基本等

出席：渋谷検査員

(3) 鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会

期日：令和5年8月29日（火）

場所：札幌市 札幌パークホテル

内容：各県・道からの研究発表

鳥インフルエンザに関する講演等

出席：事務局次長

(4) 第2回特定事業運営委員会

期日：令和5年9月4日（月）

場所：青森市 青森県獣医師会館

内容：令和5年度事業進捗状況、公2剰余金の取扱い、センター精密検査状況等

参集：特定事業委員会委員、センター所長・次長、検査員、事務局長ほか事務局

4 部会開催関係

(1) 会報部会

期日：令和5年8月28日（月）、9月11日（月）
場所：青森市 青森県獣医師会館
内容：令和5年10月発行第196号編集
出席：会報部会委員、事務局

参集：藏内会長ほか役員、日獣事務局長
日獣事務局
出席：会長

5 東北獣医師会連合会関係

(1) 令和5年度東北地区獣医師大会

期日：令和5年9月21日（木）
場所：仙台市 江陽グランドホテル
参集：東北各県、仙台市獣医師会関係者
内容：議事（日本獣医師会への要望事項）
市民公開特別講演、教育講演
出席：会長、事務局長、事務局次長、事務局

(2) 令和5年度獣医学術東北地区学会

期日：令和5年9月22日（金）
場所：仙台市 江陽グランドホテル
参集：東北各県、仙台市獣医師会会員ほか
内容：産業動物、小動物、獣医公衆衛生の3部門において各県・市からの発表者による講演、審査
出席：会長、事務局長、事務局次長、事務局

6 日本獣医師会関係

(1) 女性獣医師等就業支援研修

期日：令和5年7月11日（火）
場所：十和田市 北里大学獣医学部
内容：女性獣医師の就活、家保・共済診療所からの職場レポート等
参集：日獣担当者、獣医科学生、十和田家保長
山形県共済獣医師、学部長
出席：事務局長

(2) 全国獣医師会事務・事業推進会議

期日：令和5年7月21日（金）
場所：東京都 明治記念館
内容：マイクロチップ装着・登録、研修会事業
動物感謝デー2023、福祉共済事業等
公益認定法改正に関する研修会
参集：各地方獣医師会事務局、日本獣医師会長
日本獣医師会事務局担当者
出席：事務局長、事務局次長ほか

(3) 第4回理事会

期日：令和5年9月26日（火）
場所：東京都 日本獣医師会館

7 その他

(1) 令和5年度青森県装蹄師会総会

期日：令和5年7月24日（月）
場所：十和田市 サン・ロイヤルとわだ
出席：会長

(2) 牛の検査材料保冷施設運営協議会通常総会

期日：令和5年7月28日（金）
場所：書面開催

(3) 令和5年度野生獣衛生対策促進事業連絡協議会及び講習会

期日：令和5年8月1日（火）
場所：十和田市 十和田市民交流プラザ
出席：会長

(4) 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

第8回総会及び青の煌めきあおもり国スポ障
スポ実行委員会第1回総会
期日：令和5年8月31日（木）
場所：青森市 ホテル青森
出席：会長

(5) 獣医師研修会

期日：令和5年9月7日（木）
場所：東北町 原燃テクノロジセンター
出席：会長

〔支部状況〕

◎西北支部獣医師会

犬猫慰霊祭
期日：令和5年9月10日（日）
場所：つがる市 つがる市木造斎場

◎三八支部獣医師会

動物供養祭
期日：令和5年9月15日（金）
場所：八戸市 大慈寺

◎下北支部獣医師会

犬猫供養祭
期日：令和5年9月26日（火）
場所：むつ市 円通寺

今号は野生動物に関する情報提供や田舎館食肉衛生検査所の歴史、獣医師会の動向などの原稿が寄稿されました。会員だよりも、飼養標準の話や、新しい投稿者の方から県内の地域の史跡紹介を頂き、多少目先が変えられた様に思われます。皆様、ご協力ありがとうございました。

さて、今年の夏は県内でも猛暑日の多発や記録的な連続真夏日と、とても生きた心地がしないくらいで、エアコンの大活躍している部屋に閉じこもっていました。9月以降も残暑が続くという長期予報が出されています。そんな、巣籠もり状態の中でも春のワールドベースボールクラシックから始まり、今

年の夏はスポーツイベントが大渋滞です。福岡での世界水泳、バレーボール、女子サッカー、バスケットボール、ラグビーのワールドカップ、世界陸上、アジア大会等々のイベントで、テレビがあれば時間はあっという間に過ぎていきます。

一方、記録的な天候異常によって魚類の回遊が変化したり、農作物の発育異常によって品質低下や収量不足も懸念され、どうなるのでしょうか？

そんな問題を解決するのは政治力や、その道の専門家にお任せ出来ることを期待しています。

(A. N)

原 稿 募 集

令和6年1月1日発行予定の会報第197号の原稿を募集いたします。

会員各位の投稿のほか、各支部獣医師会だよりの原稿もお願いいたします。

原稿は、投稿規程を参照して作成し、次の方法で青森県獣医師会にお送りください。

締切り日は11月27日です。期日までをお願いいたします。

〔原稿の提出方法〕

原稿は原則としてMicrosoft Wordで2段組み、23字×37行で作成し、ファイルは電子メールに添付して本会事務局に送信してください。なお、原稿ファイルがWord以外で作成された場合は、使用したソフトをお知らせください。

手書きの原稿や、大容量（20MB以上）の写真を含む原稿ファイルはCD-R等に記録し、本会事務局に郵送してください。

本会事務局住所：〒030-0813 青森市松原二丁目8の2

電子メールアドレス：ao-vet@smile.ocn.ne.jp

明治アニマルヘルスは 狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

飼い主の皆さまへ向けて



リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」



アニメーション「狂犬病ワクチンを注射しましょう」



動画はこちら



※本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用してください。

meiji 明治アニマルヘルス株式会社
熊本市北区大窪一丁目6番1号

公益社団法人日本獣医師会の会員の皆様へ



サイバー保険特約のご案内

サイバー保険特約の概要

※獣医師賠償責任保険のオプションとして加入可能(本特約のみの加入不可)

業務遂行する上で被る可能性のある、サイバーセキュリティ被害を補償する保険特約です。

第三者への
賠償責任



サイバー攻撃、情報漏えい、システム管理などに起因して他人に経済的損害を与えた場合の賠償責任・争訟費用の補償

損害賠償金

協力費用

争訟費用

事故対応に
かかる
自社の費用



サイバー攻撃、情報漏えいなどの発生に起因して生じる『事故調査』から『解決/再発防止』までの諸費用の補償

原因調査費用

見舞費用

データ復旧費用

etc

補償内容・保険料

(保険期間1年、一括払)

加入タイプ	プラン1	プラン2	プラン3
賠償責任保険金(期間中) (自己負担額10万円)	500万円	1,000万円	1億円
費用保険金(1事故・期間中) (縮小てん補割合90%)	100万円	300万円	3,000万円
年間保険料	8,000円	12,000円	24,000円

- このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

<お問い合わせ先・取扱代理店>

株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F
TEL: 03 (3340) 6497 FAX: 03 (3340) 5700
Mail: njkyousai@nichizei.com
ご不明な点がありましたら、Mailでもお問い合わせ可能です。



<引受保険会社>

損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03 (3349) 5402 (平日午前9時から午後5時)

(SJ21-01831 2021.6.29)

YES! we do

癒す



動物のこと考えてます。

私達は動物用医薬品の供給により

動物・ペットの様々な病気を癒すサポートをし、

さらにそれが人々の心の癒しとなることを願います!

株式会社 アグロジャパン

本社・〒950-0134 新潟県新潟市江南区曙町5丁目1番3号

北東北営業部 青森チーム TEL・0176-23-7231 FAX・0176-24-0290

— 今までもこれからも「生命の未来」のために尽くしたい —

獣医師・畜産用医薬品, ワクチン類, 器具機材, プレミックス製造販売総合商社

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地 0198(26)4151

◆ 営業所一覧 ◆

花巻営業所	0198(26)4700	山形営業所	023(633)5333
大船渡営業所	0192(26)4740	酒田出張所	0234(26)4666
大館営業所	0186(43)1609	福島営業所	024(553)6678
横手営業所	0182(33)5404	新潟駐在所	0254(23)7567
青森営業所	017(738)1224	旭川営業所	0166(46)0270
八戸営業所	0178(34)2284	札幌営業所	011(813)1300
古川営業所	0229(26)4567	帯広営業所	0155(25)8661
		釧路出張所	0154(31)5575
プレミックス工場	0198(26)4726	家畜衛生食品検査センター	0198(26)5375



メディパルグループ



動物の健康はヒトの健康につながる

- 動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康を守ります。
- 安全な畜水産物の生産をサポートし、食の安全・安心と自給率の向上に貢献できる会社を目指します。

MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
 TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600
<http://www.mpagro.co.jp/>

東北営業部 青森支店 TEL 0178-20-2011 FAX 0120-446902

事業所一覧
 東京本部・岡山オフィス・福岡オフィス
 札幌・旭川・北見・帯広・釧路・函館・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東
 大阪第一・大阪第二・兵庫・岡山・広島・山口・鳥取・島根
 高松・徳島・松山・宇和島
 福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
 AHSC(アニマルヘルスサポートセンター)
 MPアグロ
 札幌・帯広・盛岡・関東・御津・各物流センター



Gazing at the future



動物の価値を高めること。
それが、私たちの使命です。



日本全薬工業株式会社
 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

www.zenoaq.com



新しい働き方

ABW

Activity Based Working



Technol 詳しくはコチラ▶



東北化学薬品株式会社

TOHOKU CHEMICAL CO., LTD

OUR SERVICE 研究分野の試薬・消耗品・機器 トータルソリューションを提供する

食品分野

農業資材分野

ヘルスケア分野

臨床検査試薬分野

化学工業薬品分野





日本獣医師会・獣医師会活動指針

—動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。—

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興、再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領 獣医師の誓い — 95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WCS）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



日本獣医師会・獣医師倫理綱領

獣医師の誓い—95年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任をもっている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は、次のことを誓う。

- 1 動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。
- 2 人と動物の絆（ヒューマン・アニマル・ボンド）を確立するとともに、平和な社会の発展と環境の保全に努める。
- 3 良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門職としてふさわしい言動を心がける。
- 4 獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、関連科学との交流を推進する。
- 5 相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の獣医界の発展に努める。

令和5年10月1日

発行所 青森市松原二丁目8の2

公益社団法人 青森県獣医師会

T E L 017(722)5989

F A X 017(722)6010

Email ao-vet@smile.ocn.ne.jp

印刷所 青森市幸畑松元62-3

青森コロニー印刷

T E L 017(738)2021

F A X 017(738)6753